

2018年3月期 第2四半期決算 説明資料 本編

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2017年11月24日

目次

I. 業績推移

II. 業績概要

III. 注目分野・施策

IV. 資本政策

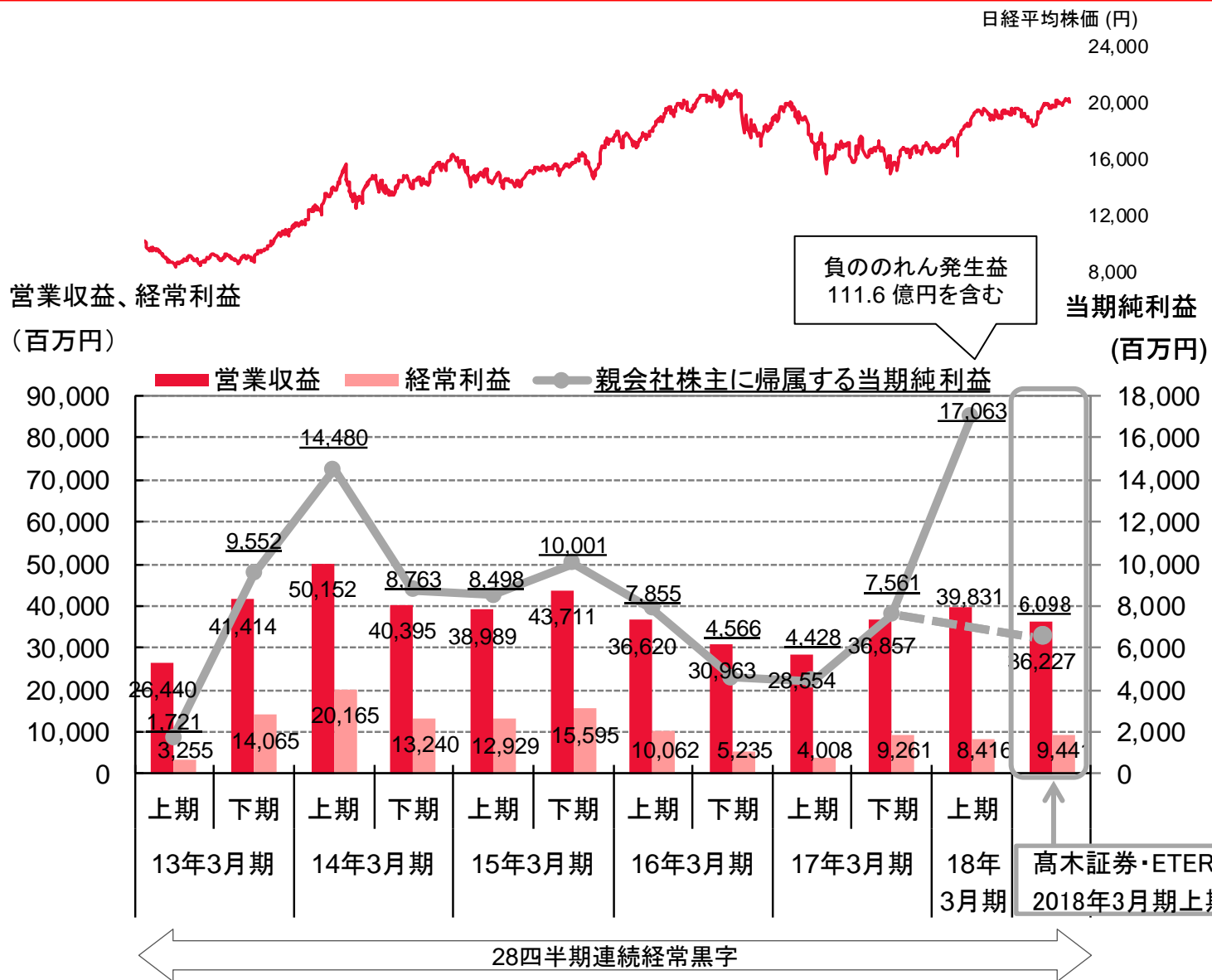
V. 新経営計画

「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

I. 業績推移

I. 業績推移

業績推移(連結、半期)



I. 業績推移

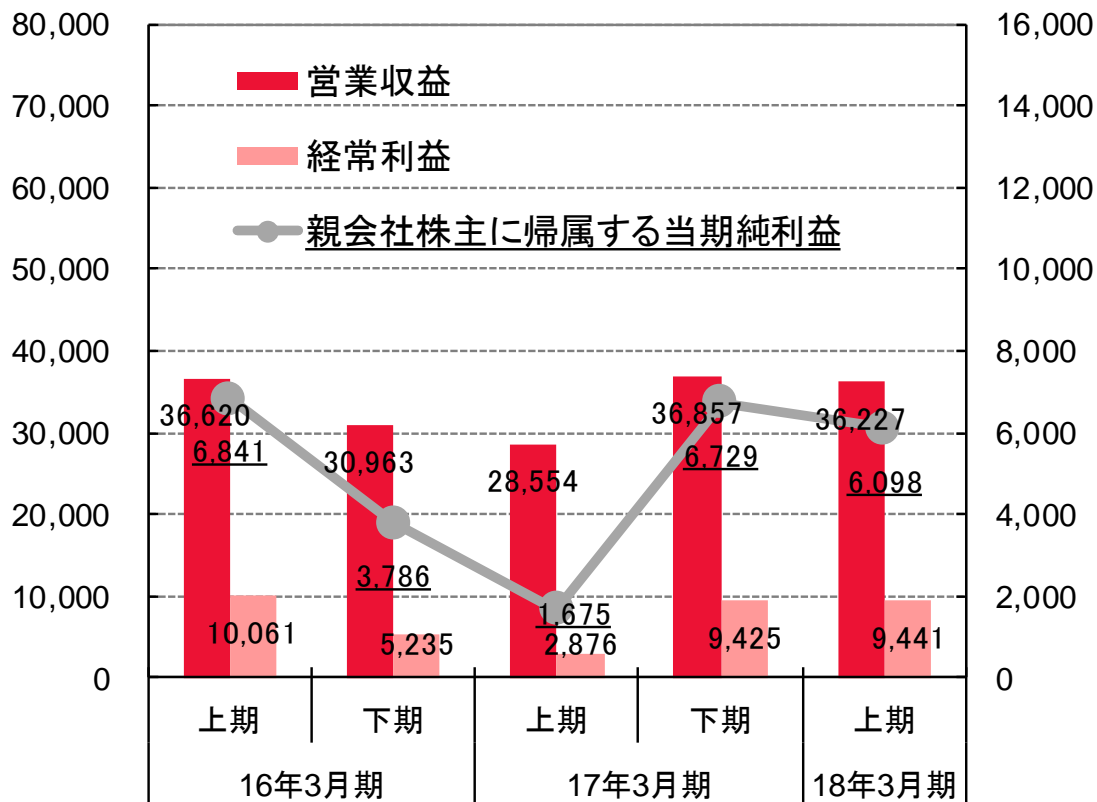
業績推移(連結、特殊要因を除く)

営業収益、
経常利益

(百万円)

半期純利益

(百万円)



I. 業績推移

業績への貢献

商品

外国株・仕組債

マーケット部門

収益の拡大

提携合弁証券(JV)
プラットフォーム

富裕層ビジネス

新プロジェクト

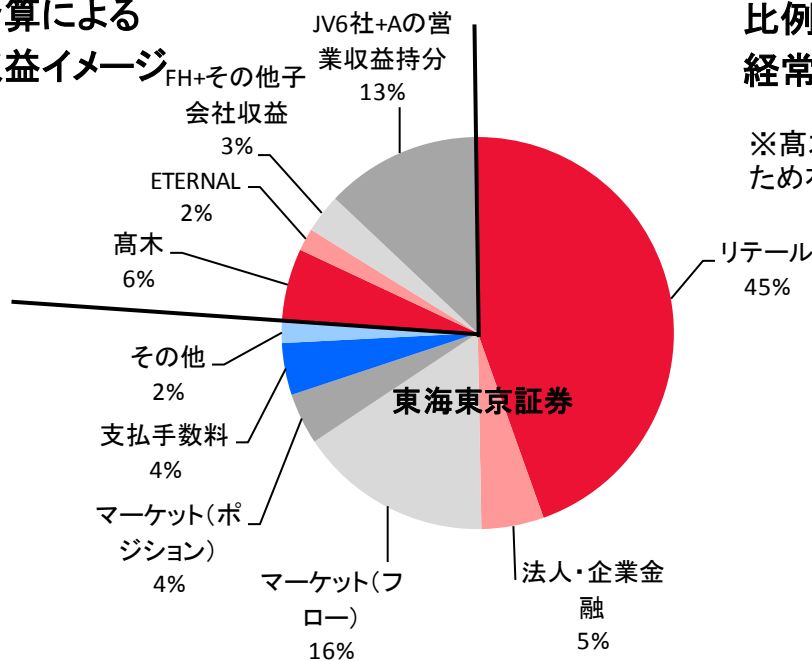
II. 業績概要

II. 業績概要

比例合算によるグループ損益の源泉(イメージ)

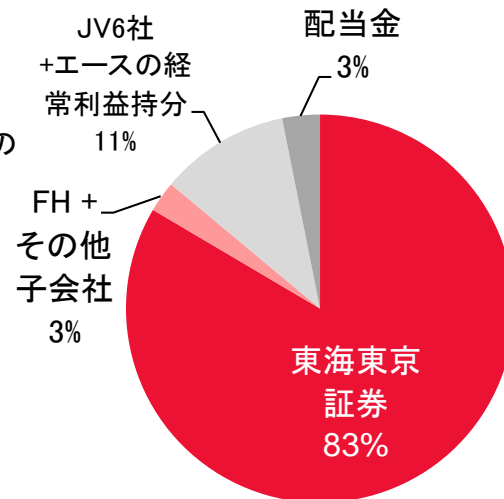
(2018年3月期第2四半期末時点)

比例合算による
営業収益イメージ

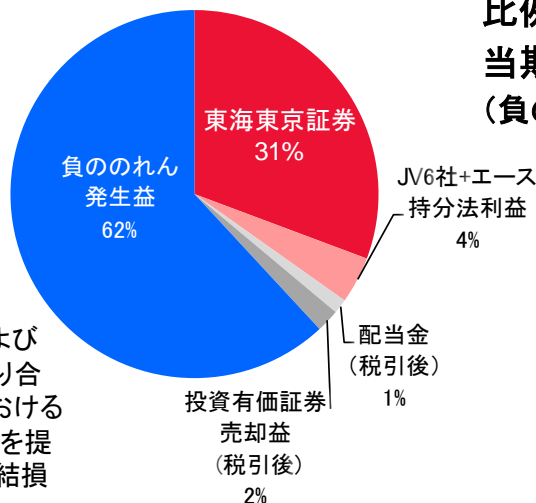


比例合算による
経常利益イメージ

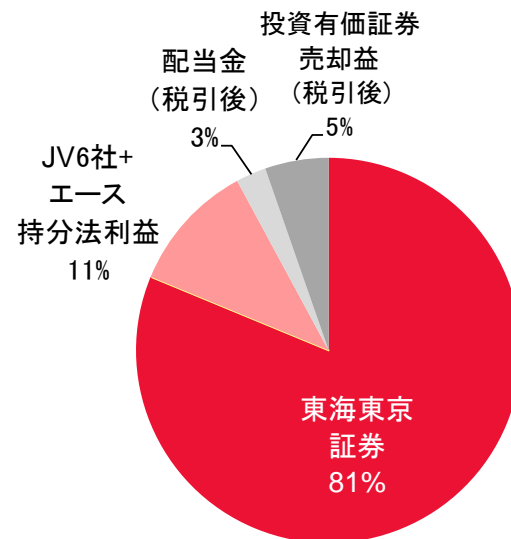
※高木証券は経常損失のため右記比率に含めず



比例合算による
当期純利益イメージ



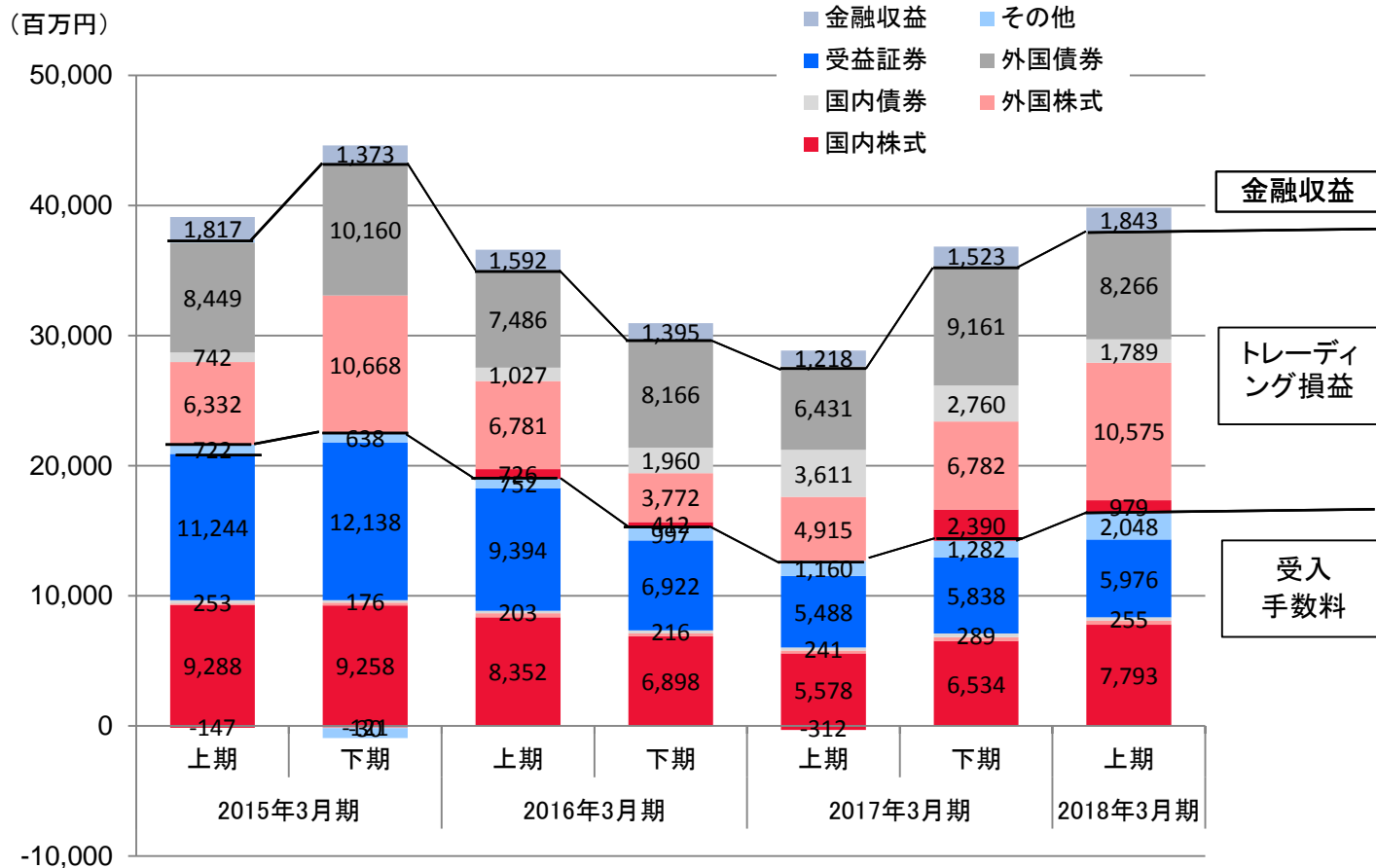
比例合算による
当期純利益イメージ
(負ののれんを除く)



* 持分法適用会社(提携合併証券およびエース証券)の収益を持分比率により合算することで、2018年3月期上期における当社グループ損益の源泉のイメージを提示するものであり、企業会計上の連結損益計算書とは異なります。

II. 業績概要

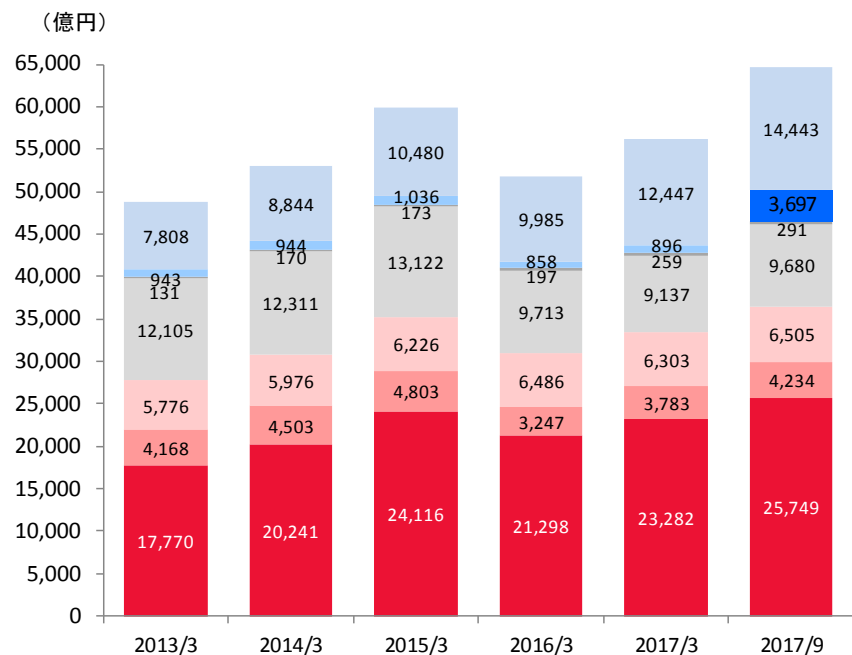
(連結)営業収益 商品別内訳



II. 業績概要

グループの預かり資産推移

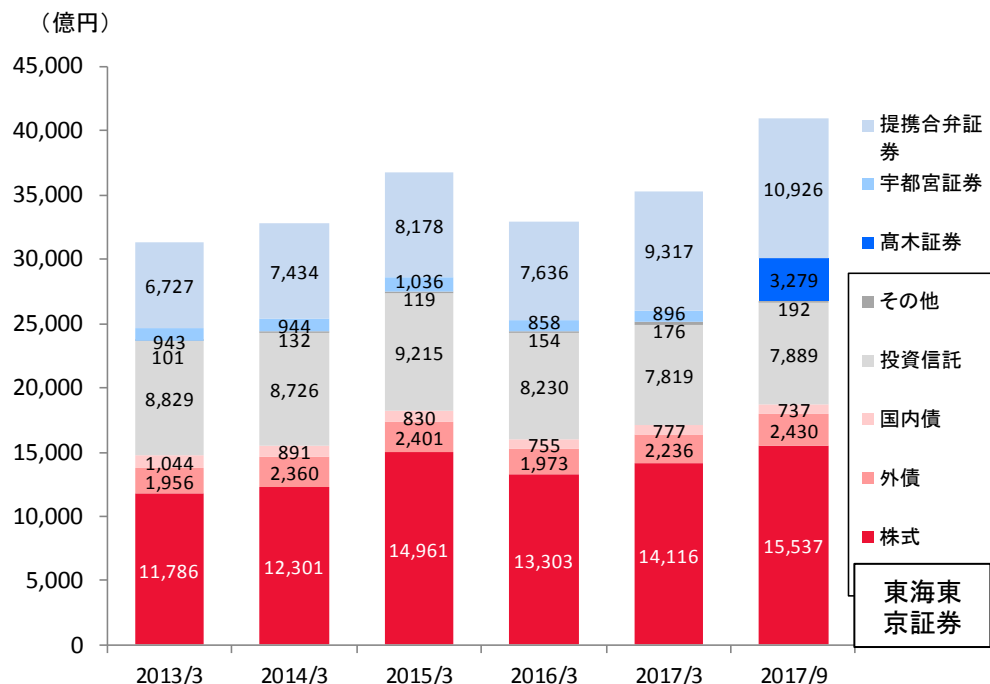
■グループの預かり資産推移(全体)



東海東京証券 合計 (億円)

2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2017/9
39,952	43,202	48,440	40,942	42,763	46,460

■グループの預かり資産推移(個人顧客)

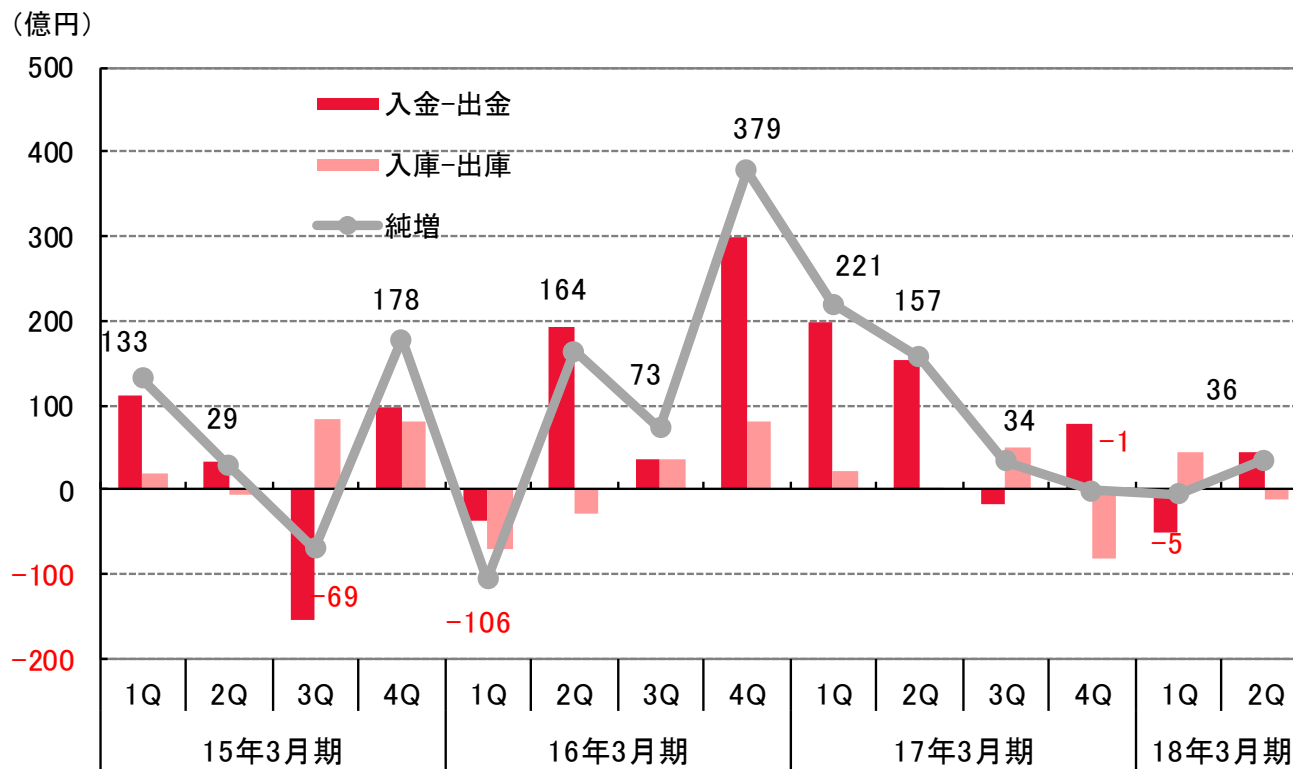


東海東京証券 合計 (億円)

2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2017/9
23,716	24,410	27,526	24,414	25,124	26,785

II. 業績概要

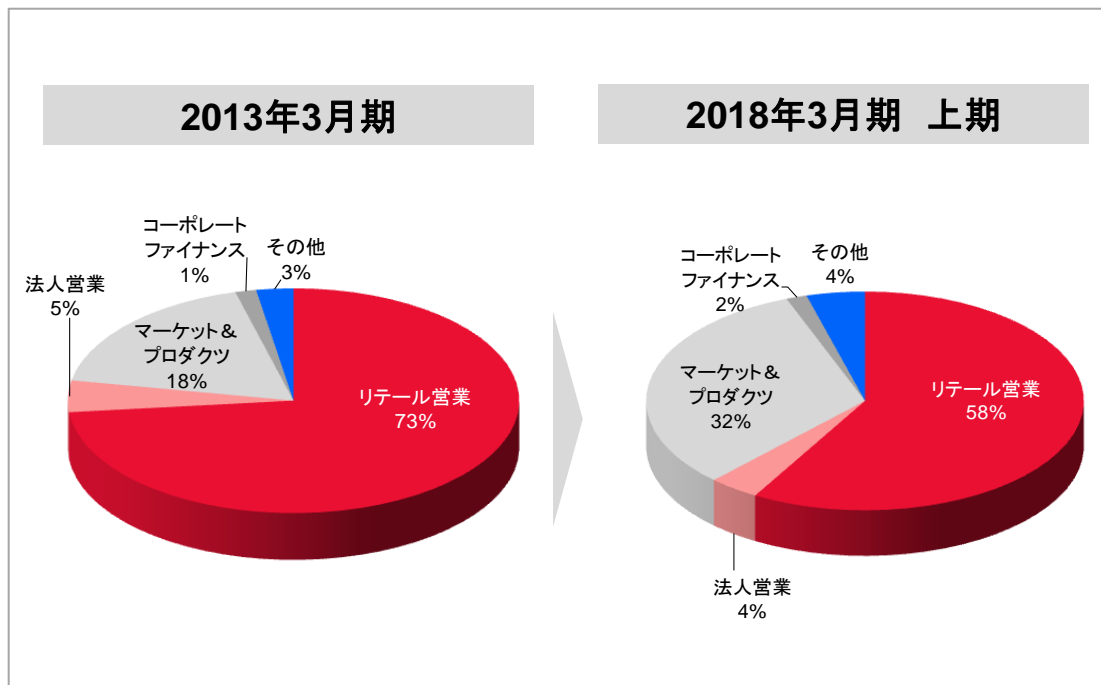
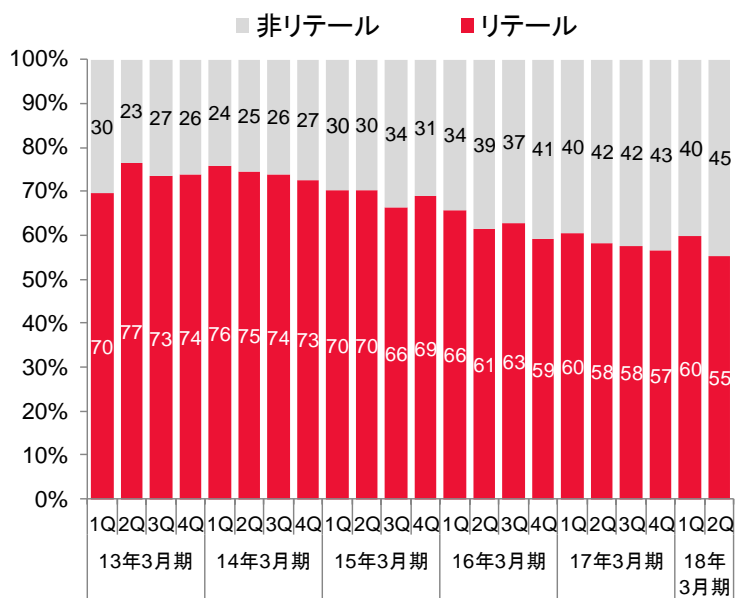
(東海東京証券)個人資産導入状況



※JVへの支店譲渡にかかる出庫は控除
(17年3月期 2Q,4Q)

II. 業績概要

(東海東京証券)セグメント別収益内訳

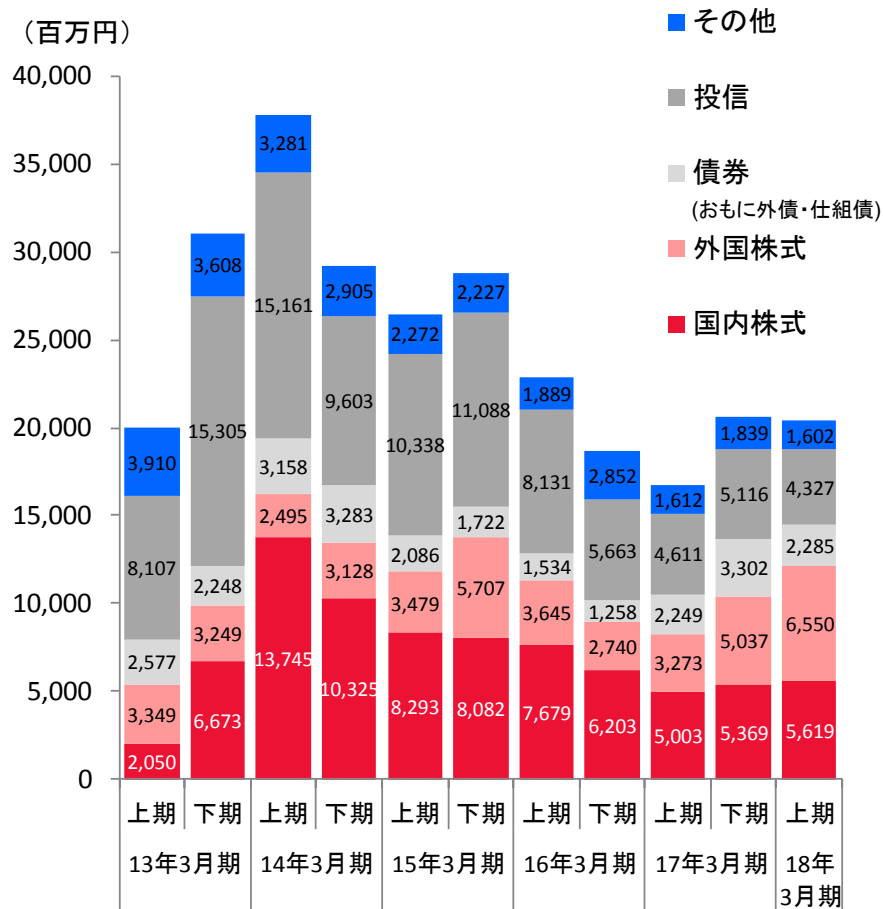


*東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

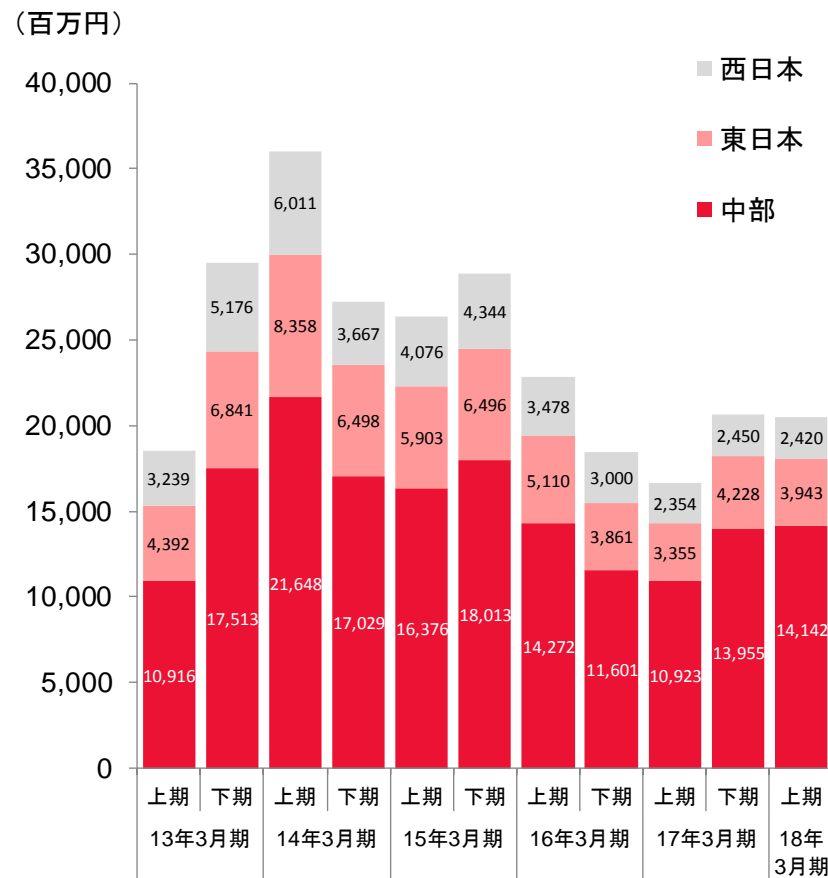
II. 業績概要

(東海東京証券)リテール部門

商品別収益



地域別収益

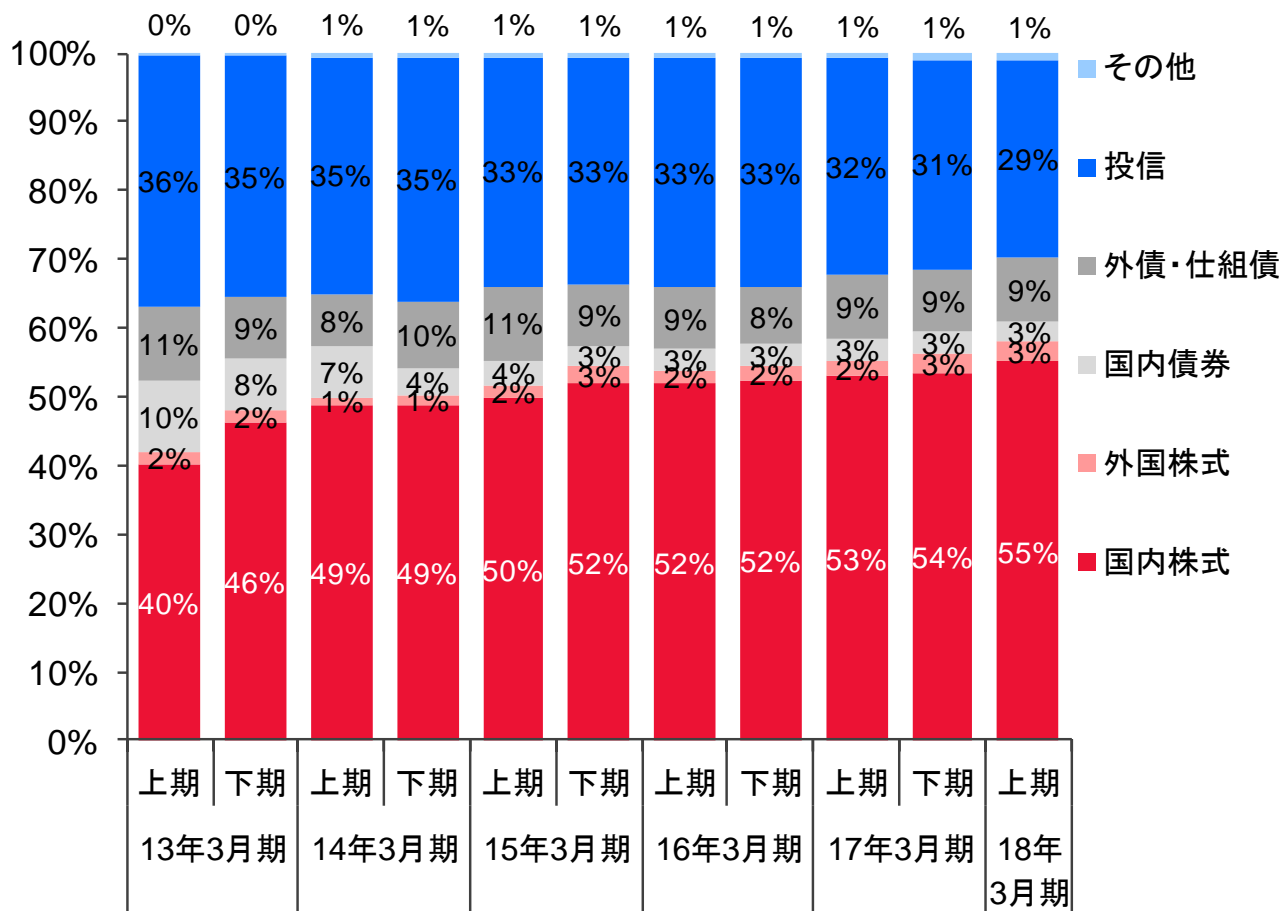


*顧客に付随しない収入は除く

II. 業績概要

(東海東京証券)リテール部門

預かり資産推移(商品別)

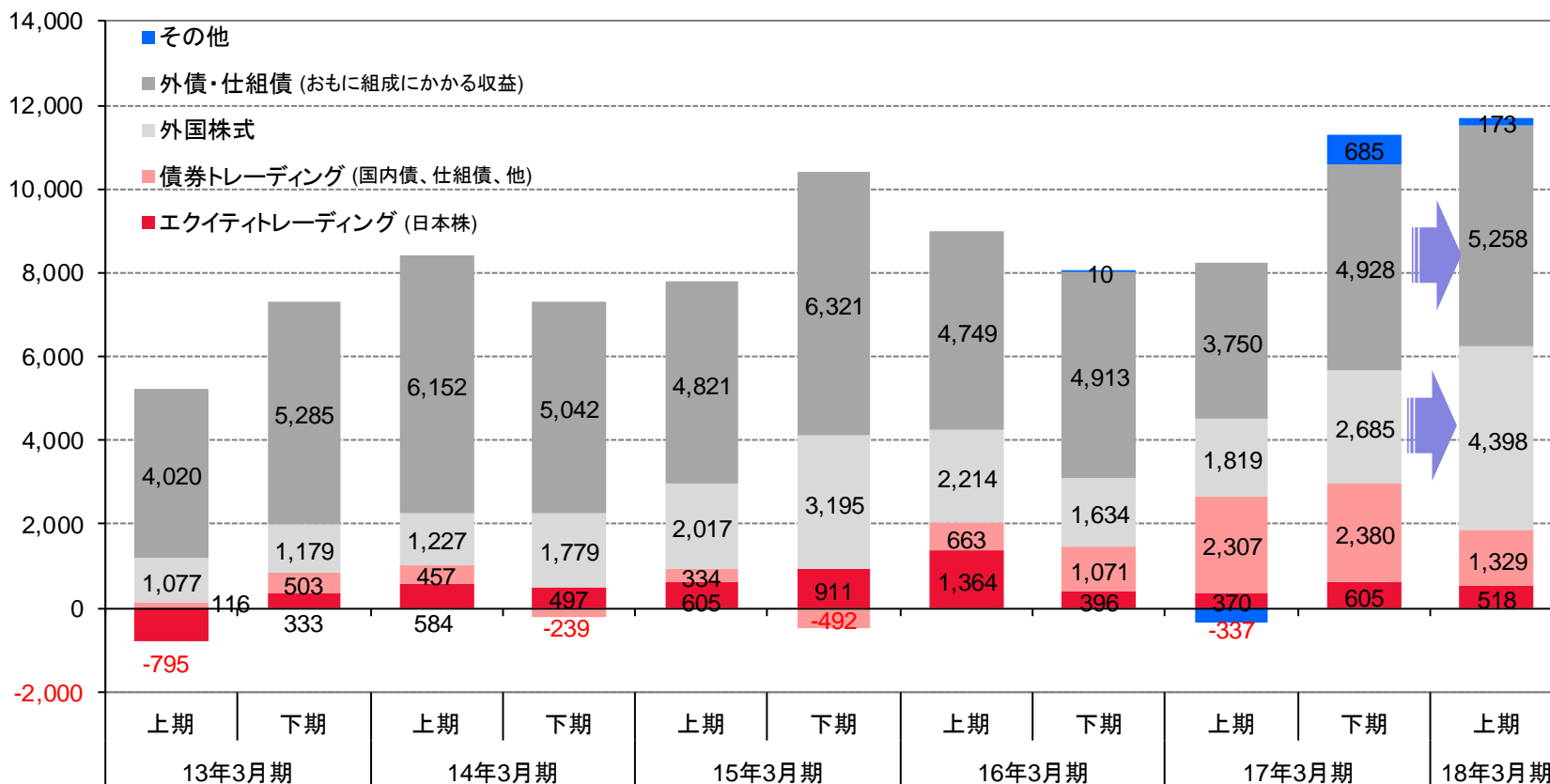


II. 業績概要

(東海東京証券)市場部門

外債・仕組債および外国株式収益の増加

(百万円)



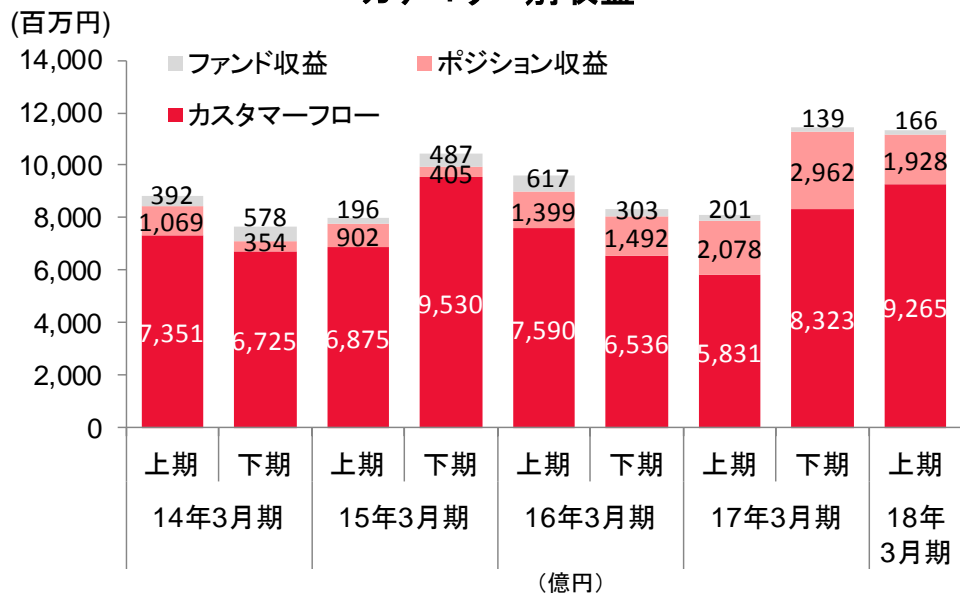
*東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

*管理会計上分類できない数値を「その他」として計上

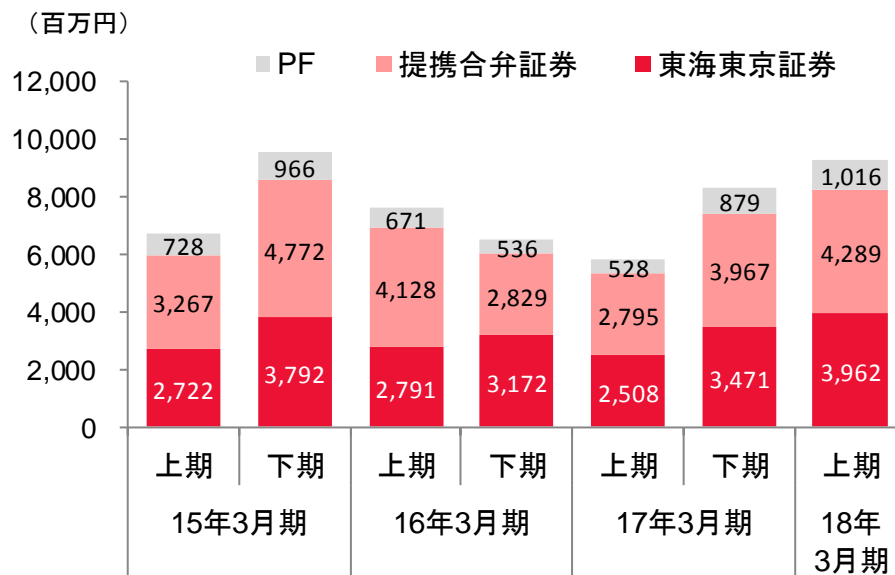
II. 業績概要

(東海東京証券)市場部門

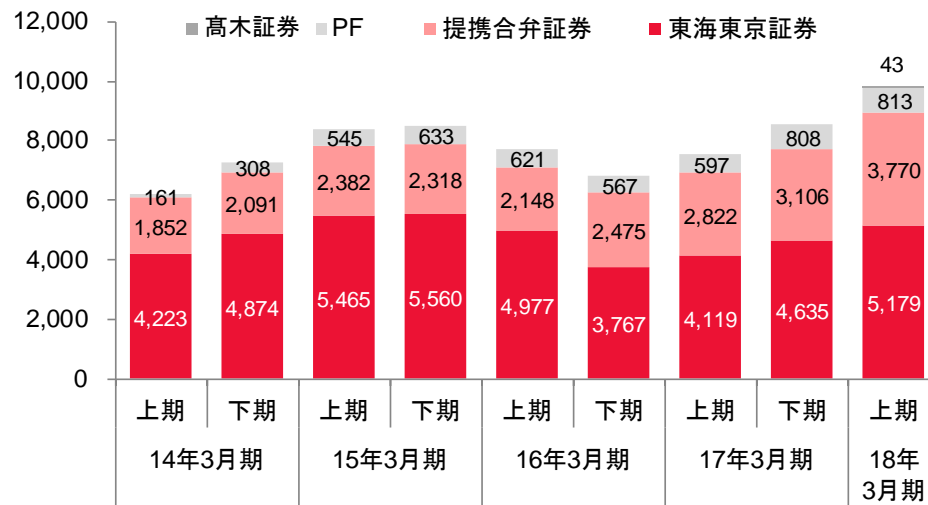
カテゴリー別収益



顧客別フロー収益



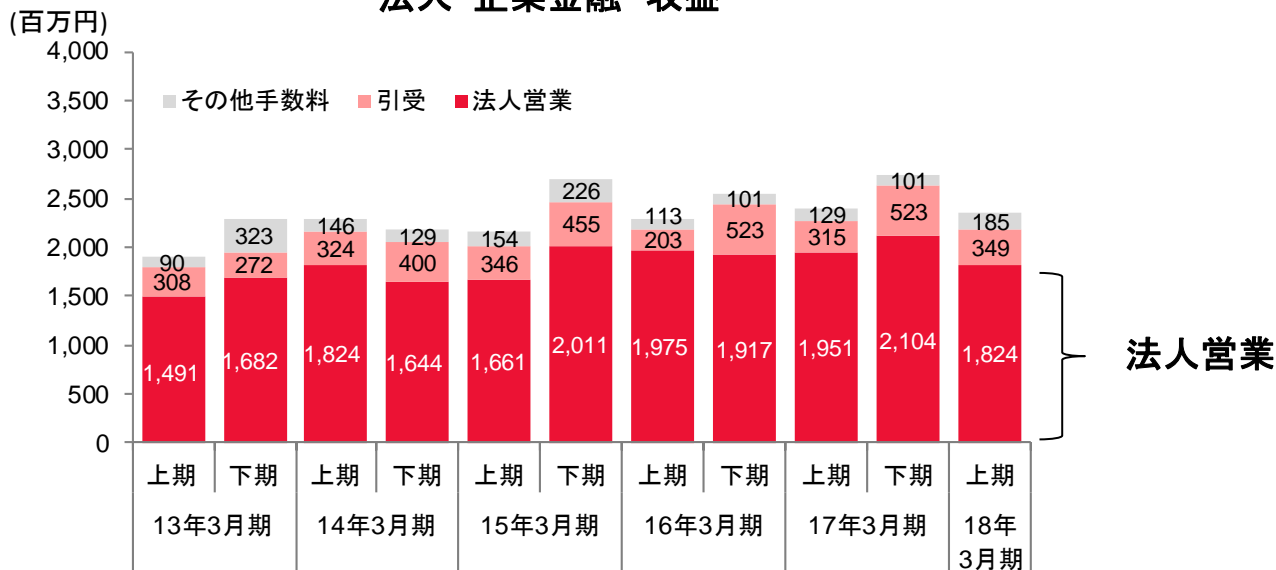
市場部門の保護預かり資産



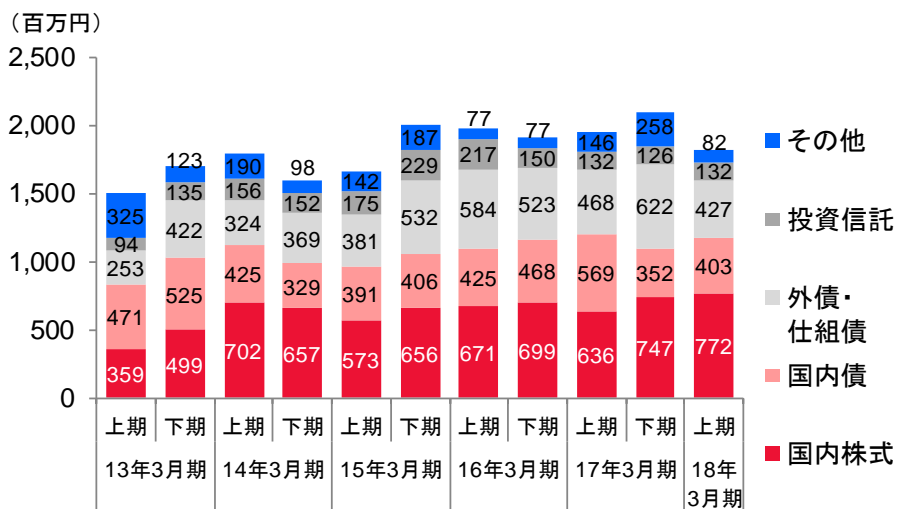
II. 業績概要

(東海東京証券) 法人部門・企業金融部門

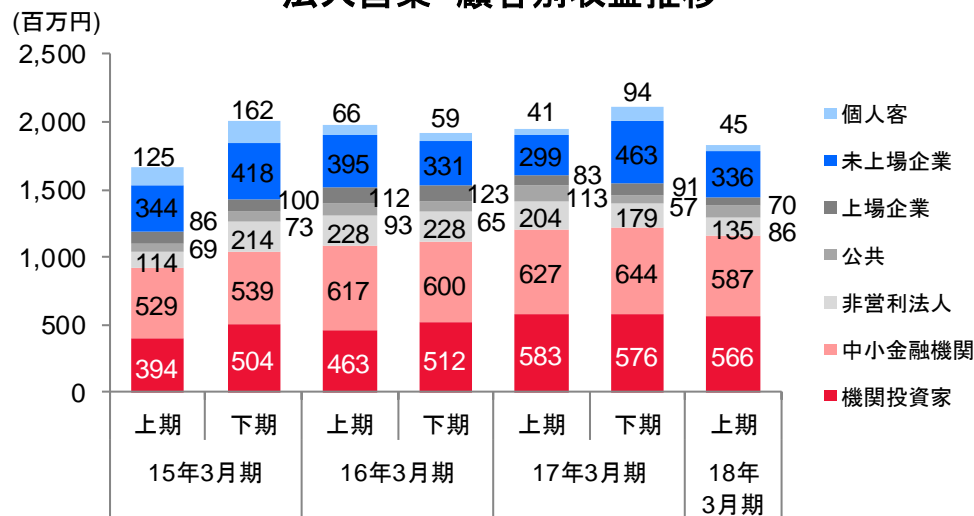
法人・企業金融 収益



法人営業 商品別収益推移



法人営業 顧客別収益推移



II. 業績概要

(東海東京証券) 法人部門・企業金融部門

■ リーグテーブル (2017年4月-9月)

債券総合

順位	引受会社	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	みずほ	1,937,351	22.10	330
2	三菱UFJモルガン・スタンレー	1,802,802	20.57	339
3	野村	1,682,202	19.19	322
4	大和	1,495,151	17.06	323
5	SMBC日興	1,316,651	15.02	324
6	東海東京	147,520	1.68	87
7	ゴールドマン・サックス	111,500	1.27	40
8	しんきん	103,700	1.18	56
9	岡三	57,550	0.66	53
10	メリルリンチ日本	28,500	0.33	19

地方債 (主幹事)

順位	引受会社	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	大和	283,295	22.50	53
2	野村	232,450	18.40	44
3	SMBC日興	230,381	18.30	47
4	三菱UFJモルガン・スタンレー	209,258	16.60	41
5	みずほ	172,853	13.70	35
6	東海東京	64,039	5.10	14
7	ゴールドマン・サックス	28,100	2.20	6
8	しんきん	18,400	1.50	6
9	岡三	11,829	0.90	4
10	パークレイズ	5,000	0.40	1

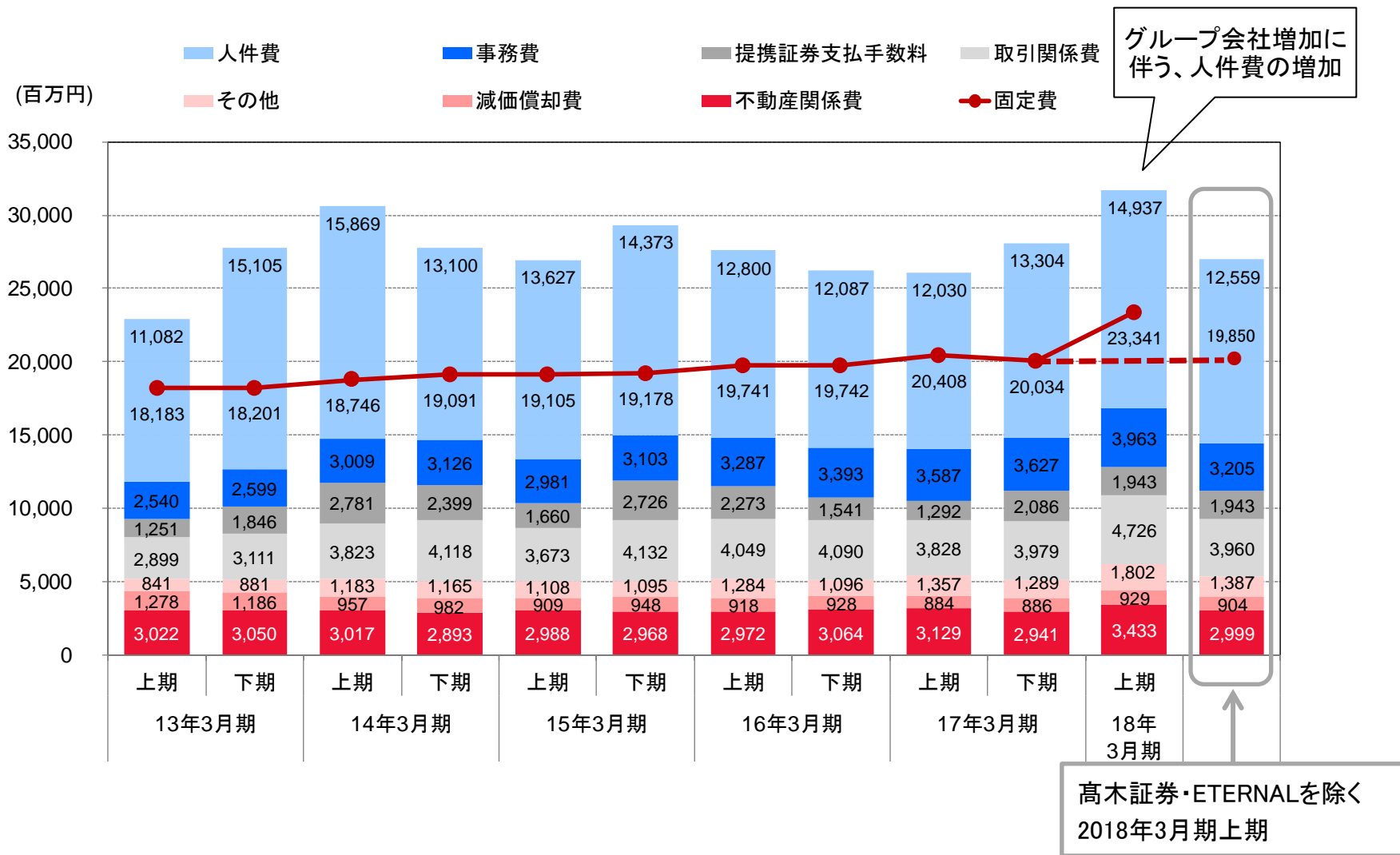
IPO 引受

順位	引受会社	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	野村	37,844	44.61	12
2	SMBC日興	16,779	19.78	22
3	みずほ	9,680	11.41	20
4	大和	6,301	7.43	11
5	三菱UFJモルガン・スタンレー	5,939	7.00	8
6	SBI	3,104	3.66	27
7	マネックス	1,322	1.56	12
8	いちよし	1,099	1.30	12
9	東海東京	734	0.86	3
10	エース	633	0.75	14

出所: Thomson Reuters, キャピタル・アイ

II. 業績概要

(連結)販売費および一般管理費の推移



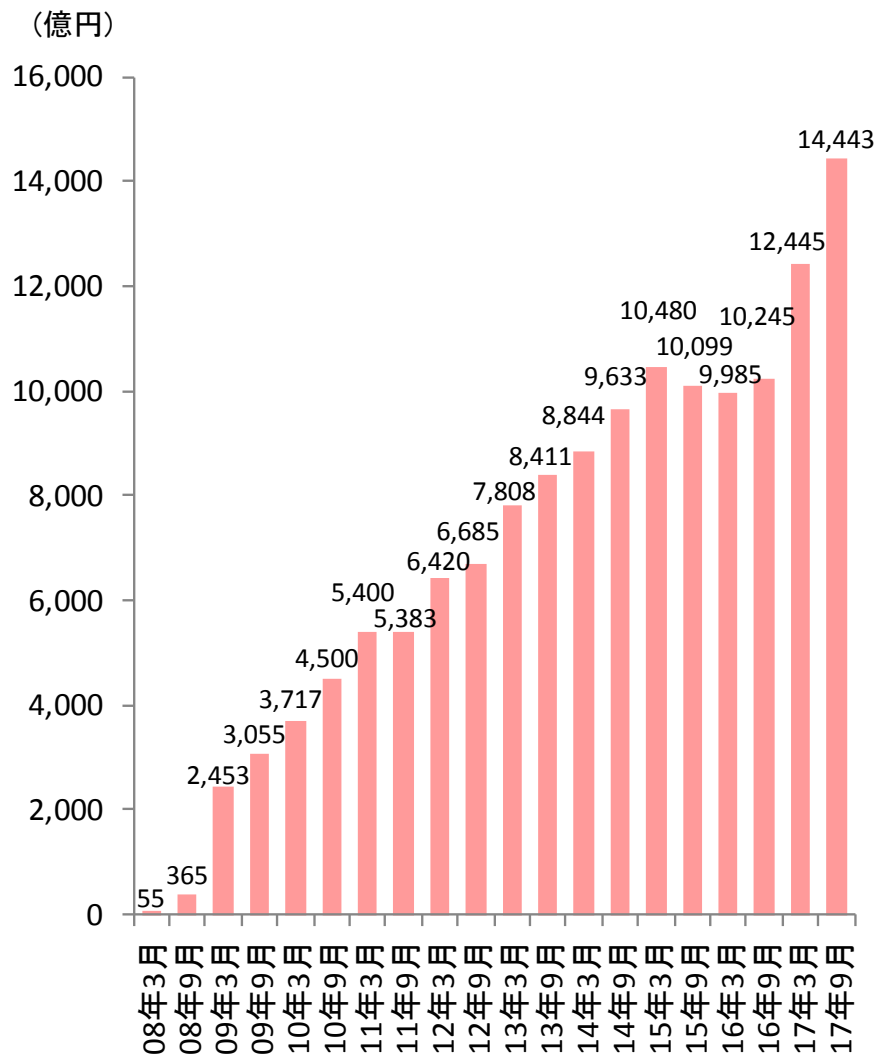
*JVへの支店譲渡時のデータ移行費(事務費)控除 17年2Q・17年4Q

III. 注目分野・施策

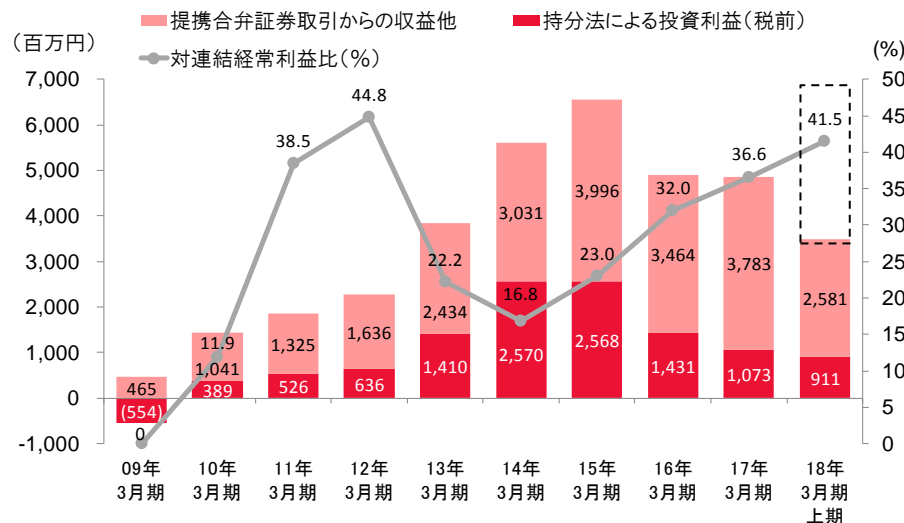
III. 注目分野・施策

地方銀行との提携合弁証券(JV)

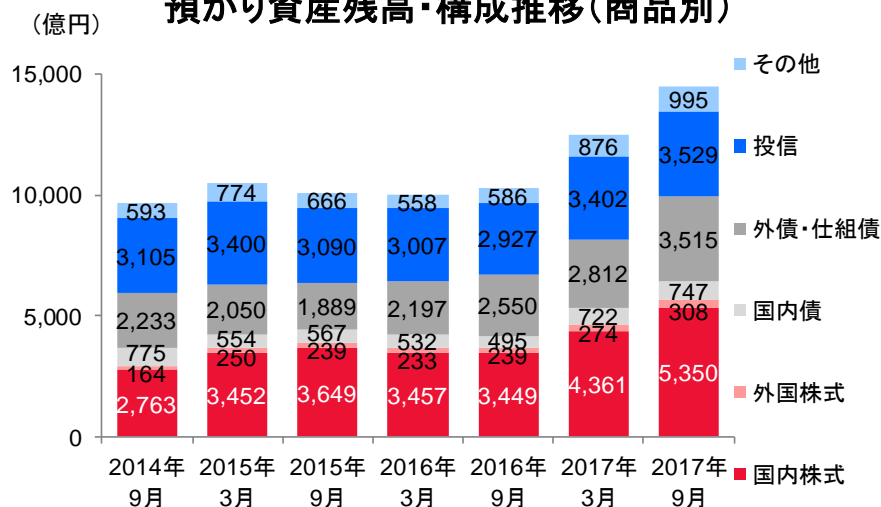
預かり資産残高推移(JV6社合算)



連結利益への貢献



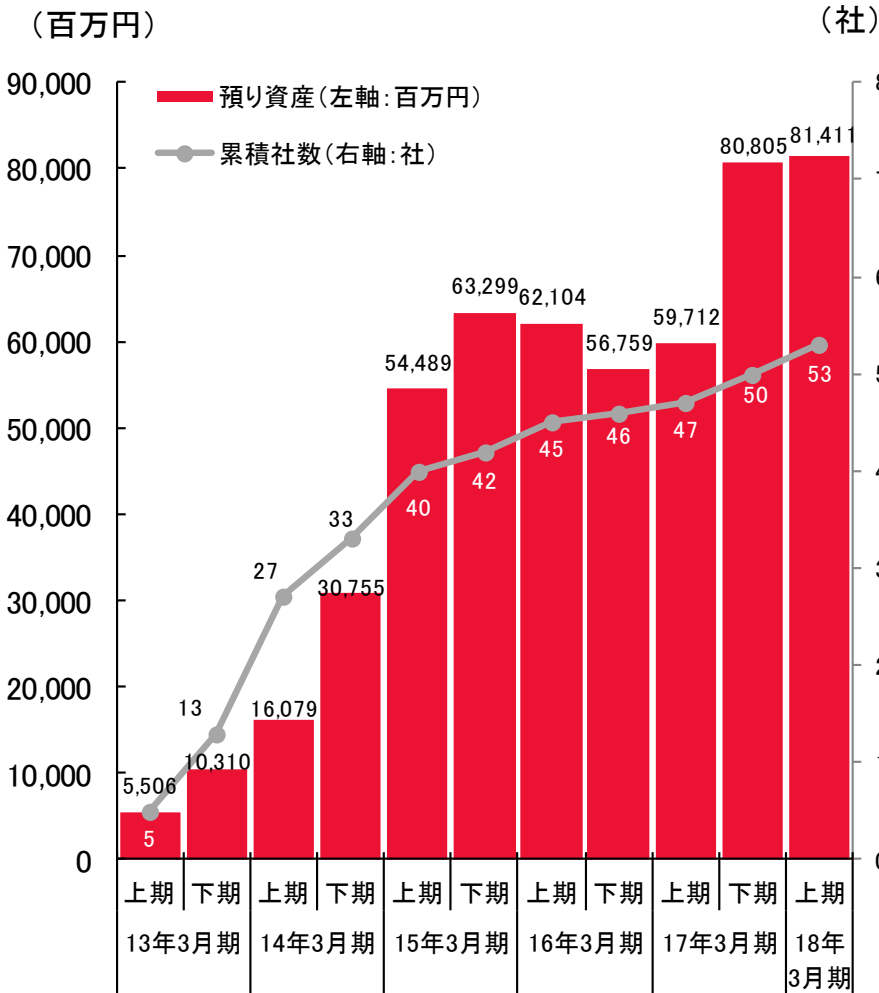
預かり資産残高・構成推移(商品別)



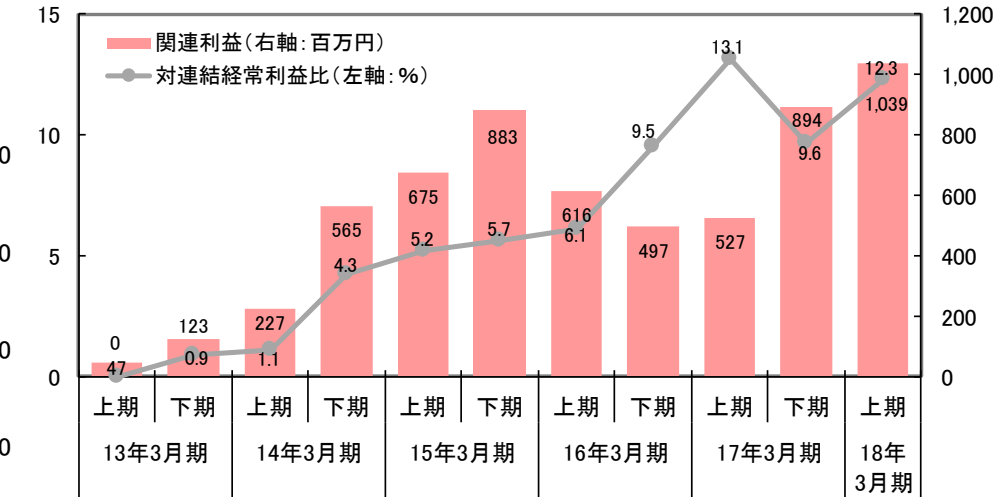
III. 注目分野・施策

プラットフォーム事業

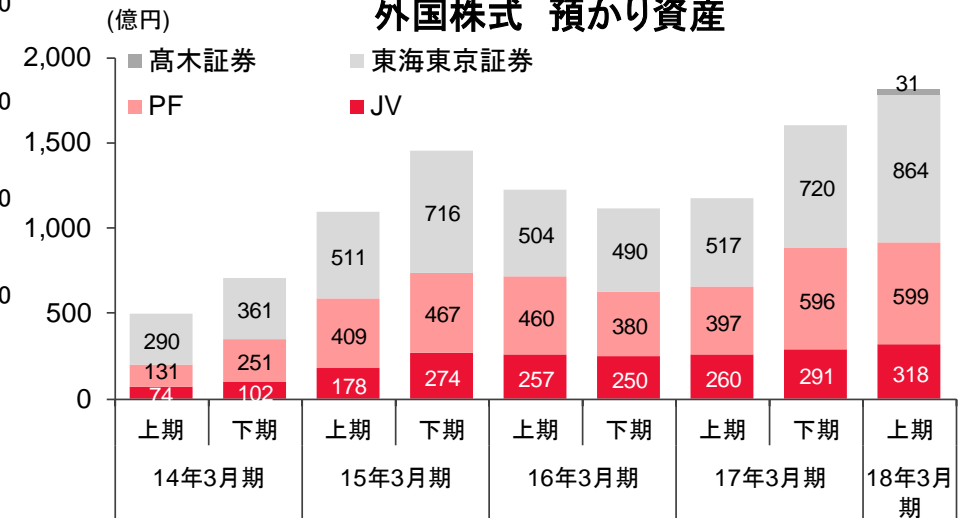
プラットフォーム提携社数と 保護預かり資産



プラットフォーム事業関連利益と寄与率 (百万円)



外国株式 預かり資産

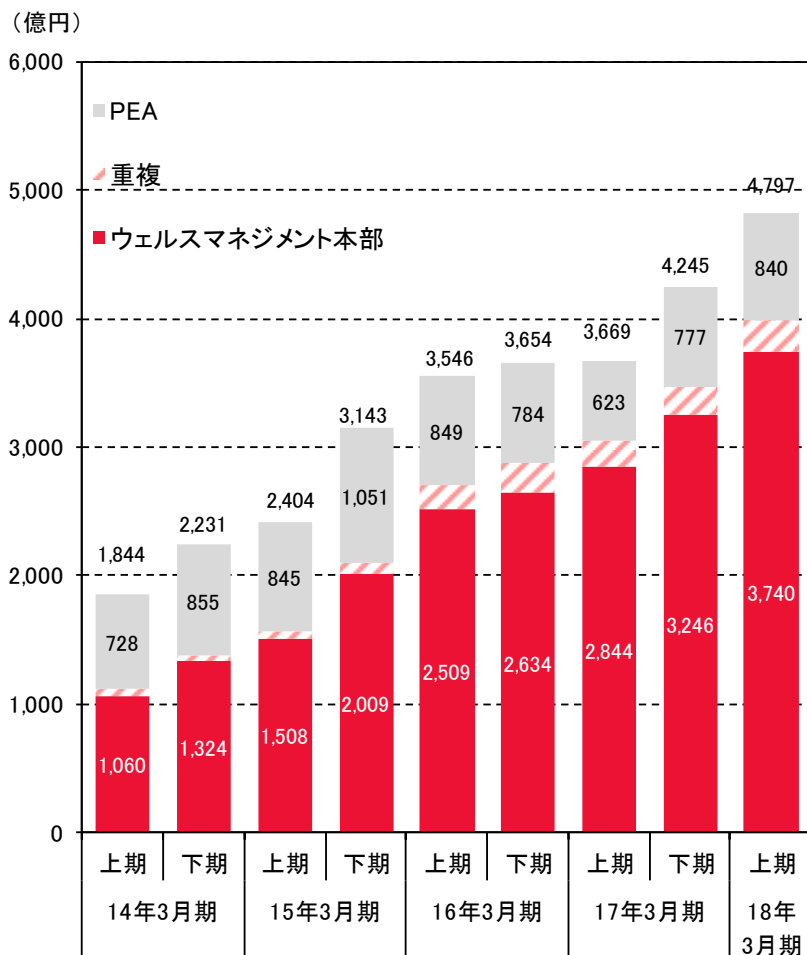


III. 注目分野・施策

(東海東京証券) ウェルスマネジメント部門

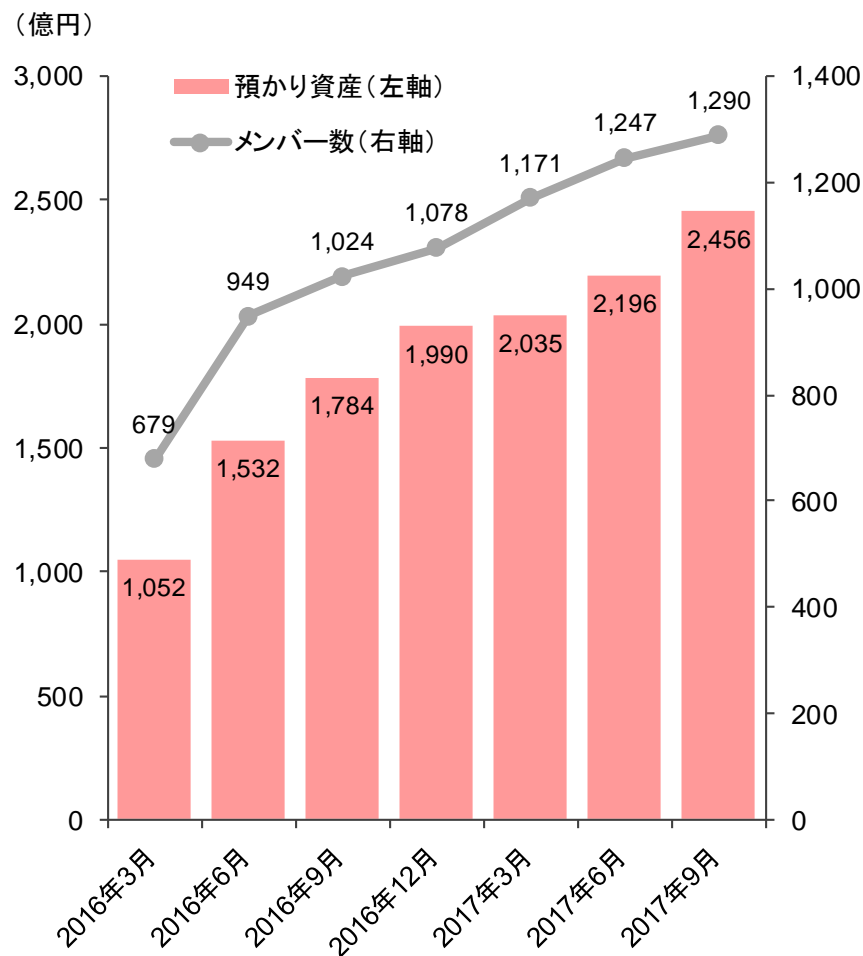
預かり資産

(ウェルスマネジメント本部 & プレミア・エグゼクティブ・アドバイザー)



オルグドール

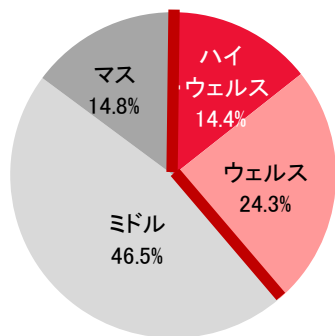
メンバー数・預かり資産



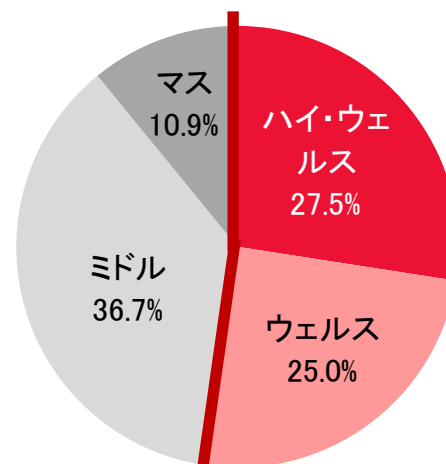
III. 注目分野・施策

(東海東京証券)ウェルスマネジメント部門

リテール部門の預かり資産におけるハイ・ウェルス比率

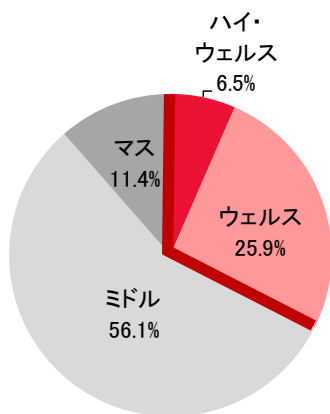


2013年3月末

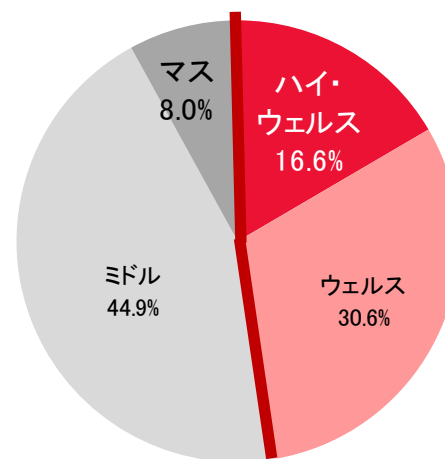


2017年9月末

リテール部門の収益におけるハイ・ウェルス比率



2013年3月期



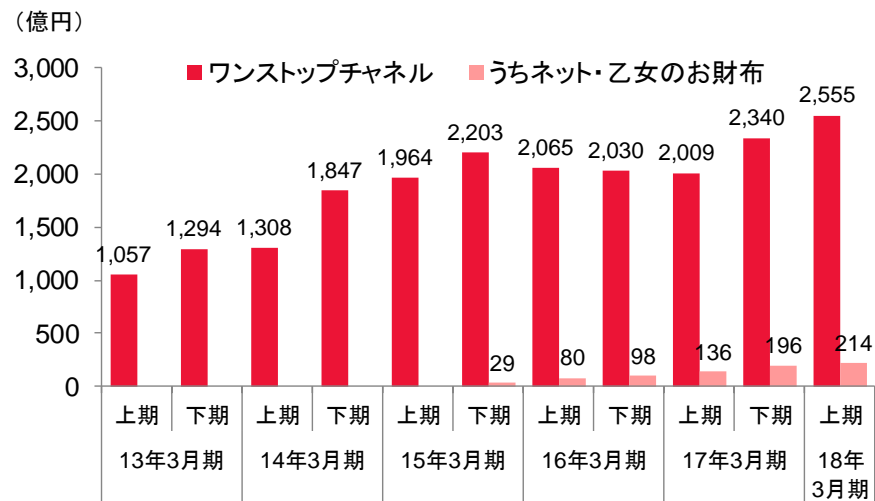
2018年3月期 上期
(2017年4月～9月)

ハイ・ウェルス : 預かり資産1億円以上
ウェルス : 3,000万円以上1億円未満
ミドル : 500万円以上3,000万円未満
マス : 500万円未満

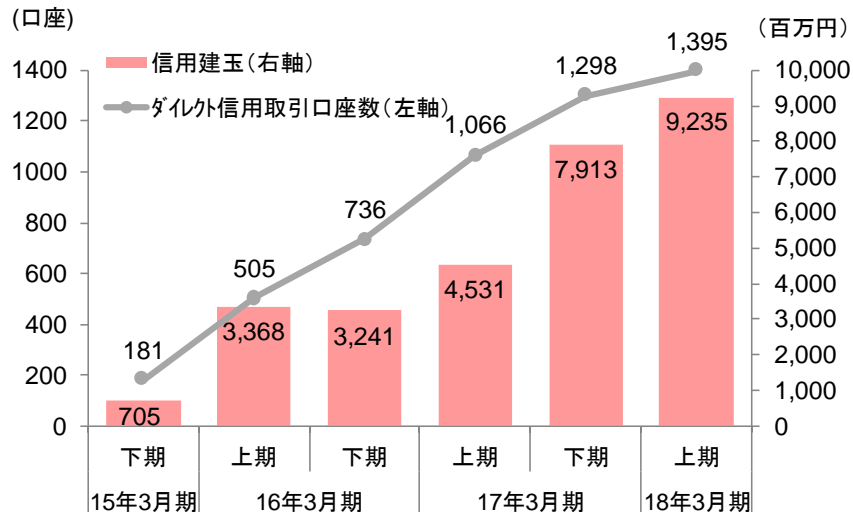
III. 注目分野・施策

(東海東京証券)ワンストップチャネル部門

預かり資産



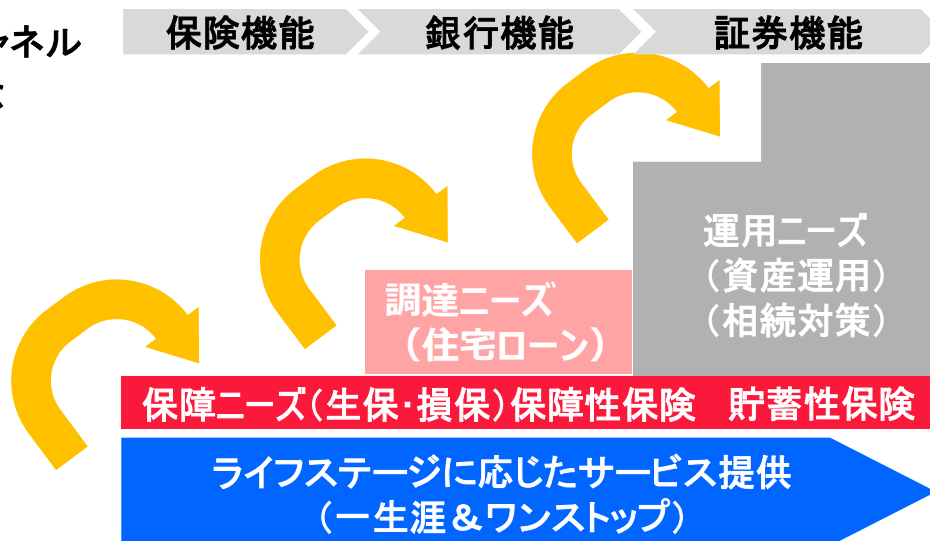
「ダイレクト信用取引」



■資産形成層向けワンストップチャネル「MONEQUE(マニーク)」の概念

となえる・かなえる・そだてるをひとつに。

MONEQUE
マニーク



III. 注目分野・施策

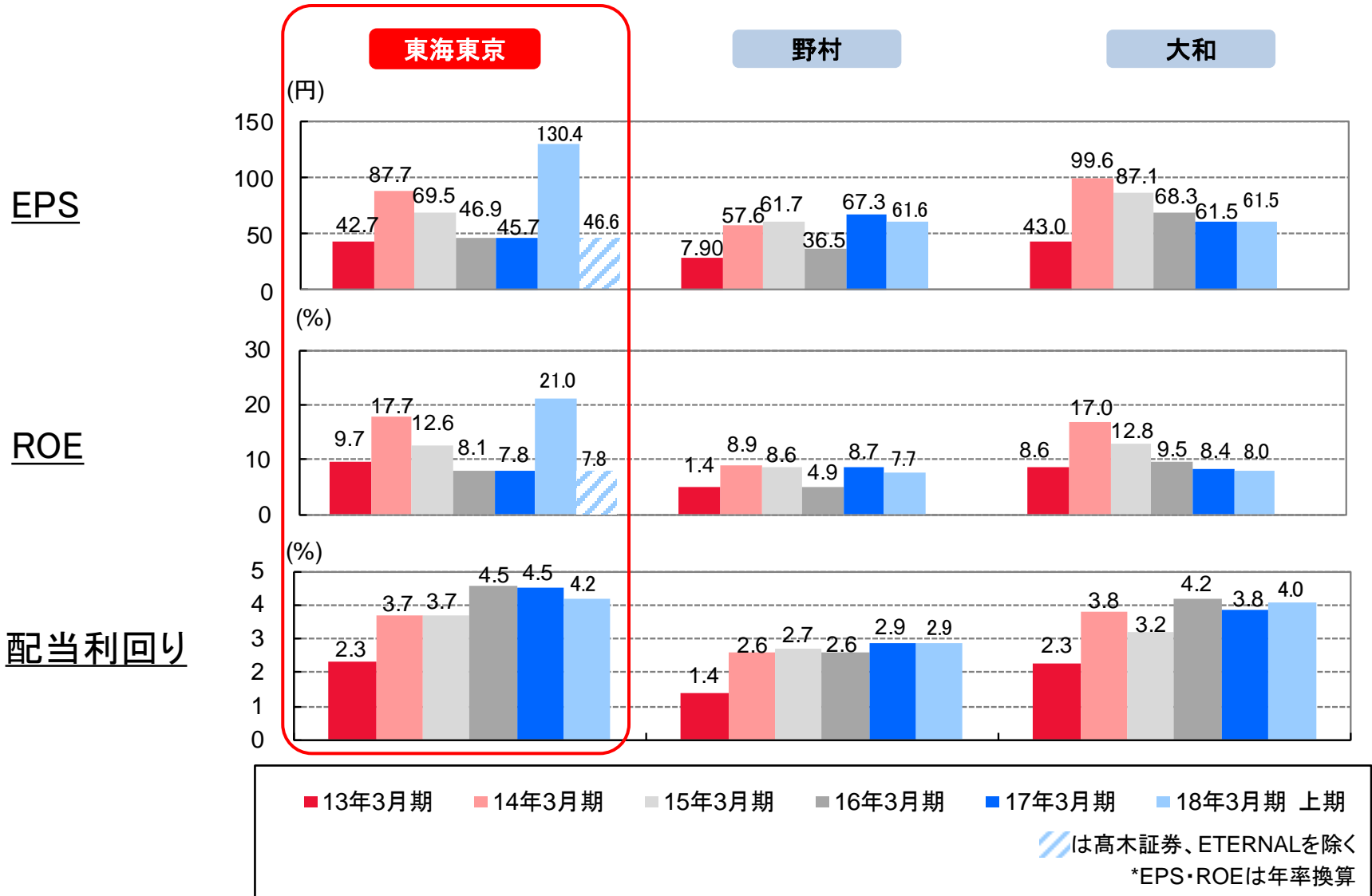
2016年度以降の主な新プロジェクトの進捗

	プロジェクト		実績／現状	今後の見通し
2016年				
3月	「Orque d'or (オルクドール)」	名古屋にてサロン開設	富裕層向けサービスを開始。預かり資産は2,000億円を超え、部門は黒字化	東京へ進出を計画
4月	オールニッポンアセットマネジメント	持分比率33%	新しい収益源として、提携地銀の余資運用を開始。2017年9月末現在2,129億円の運用資産	収益拡大と黒字化
9月	エース証券	持分比率29%	商品提供を開始。同社の顧客基盤は既に当社トレーディング収益の拡大に貢献	更なる提携施策を検討
2017年				
1月	ほくほくTT証券	持分比率40% (ほくほくFG共同保有)	証券事業を開始し、2018年3月期第1四半期にて黒字化を達成	顧客および預かり資産を拡大。支店ネットワークの拡大を計画
	宇都宮証券	栃木銀行と業務提携	当社持分を40%とし、2017年4月より証券事業を開始	顧客および預かり資産を拡大
2月	高木証券	完全子会社化	関西圏の事業基盤を拡大。当期第2四半期は783百万円の経常赤字	事業戦略の見直しと今期中の黒字化
3月	ETERNAL	完全子会社化	保険事業拡大	事業戦略の強化と、「マネーク」へのシナジー効果を追求
	「MONEQUE (マネーク)」	9月までに3店舗開設	資産形成層を考えるお客様向け新ブランドとして創設し、店舗展開開始	顧客牽引施策を追究 中部での更なる店舗展開

IV. 資本政策

IV. 資本政策

株式指標の他社比較



IV. 資本政策

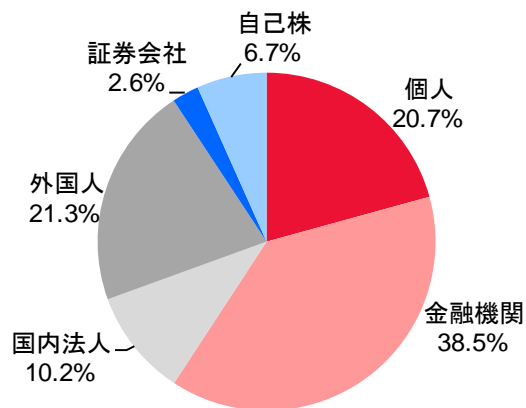
株主情報

■ 株式指標

	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 上期
自己資本(百万円)	121,947	140,462	154,633	153,089	155,312	169,482
自己株式保有額	4,207	3,835	3,639	6,390	7,572	7,528
1株あたり年間配当金(円)	16.00	32.00	34.00	28.00	26.00	14.00
配当性向(%)	37.4%	36.5%	48.9%	59.7%	56.9%	62.1%
DOE(%)	3.6%	6.5%	6.1%	4.8%	4.4%	4.3%

*2018年3月期の1株あたり配当金は2018年3月期の中間配当の金額であり、配当性向は高木証券完全子会社化に伴う負ののれん111.6億円を引き、年換算した数値を記載しております。

■ 株式分布および大株主について



大株主	持株数	持株比率 (%)	
- シュロージャー・インベストメント(*)	18,200	7.55	
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,875	4.58	
2 株式会社三菱東京UFJ銀行	12,016	4.28	
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,379	3.69	
4 三井住友海上火災保険株式会社	9,033	3.21	
5 トヨタファイナンシャルサービス株式会社	8,885	3.16	
6 株式会社 横浜銀行	7,014	2.50	
7 日本生命保険相互会社	5,611	2.00	
8 ジェーピー モルガン チェース バンク	385166	4,840	1.72
9 三井住友信託銀行株式会社	4,800	1.71	
10 明治安田生命保険相互会社	4,406	1.57	

(2017年9月30日現在)

* 左記の大株主情報は、2017年9月末基準日の株主名簿をもとに記載しておりますが、2017年11月7日付シュロージャー・インベストメント・マネジメント株式会社による(大量保有)変更報告書にもとづき、同社グループが当社株式を7.55%保有していることを認識しております。

■ 自己株式の取得および消却について

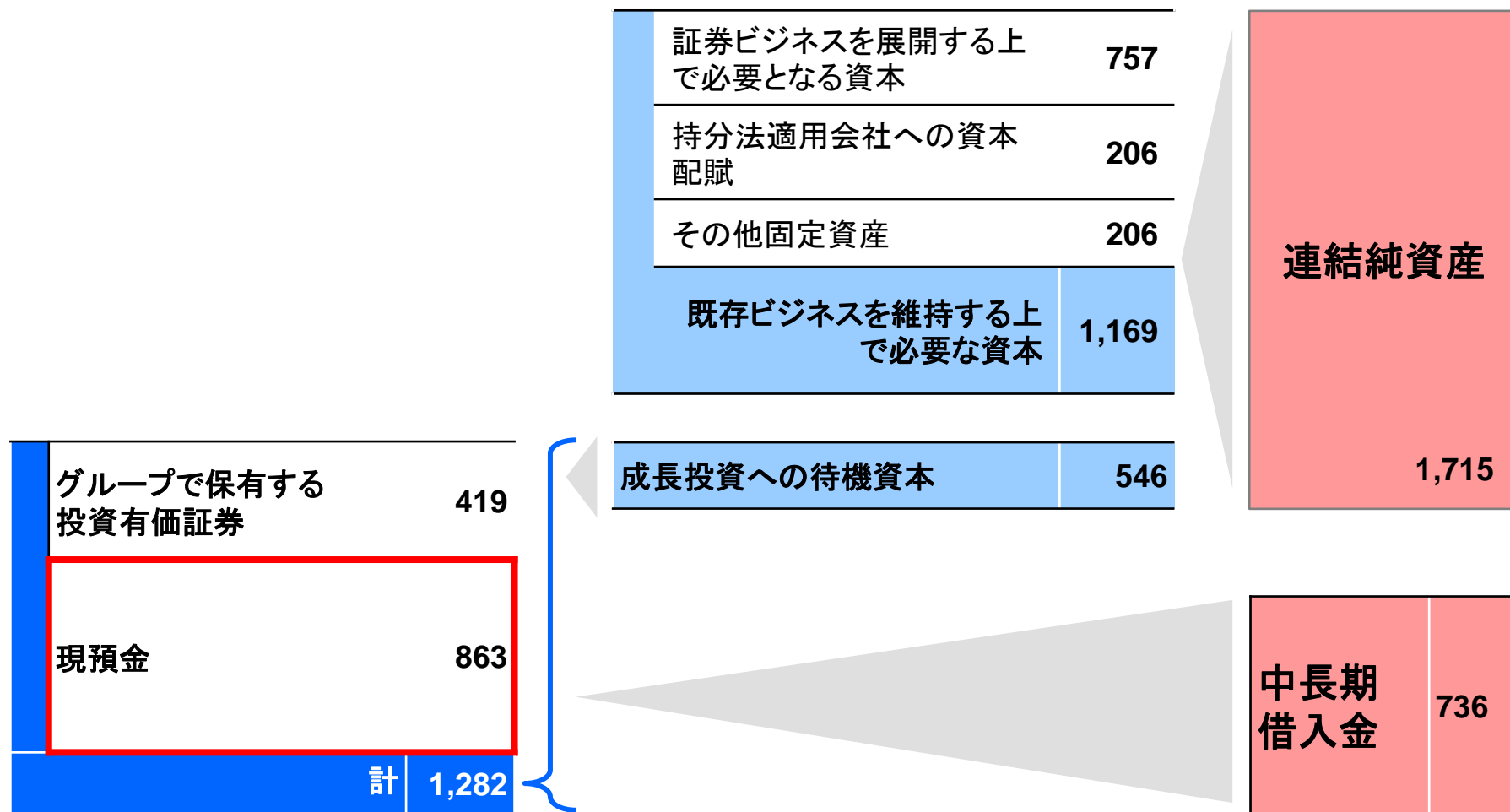
2017年10月27日、当社は同日開催の取締役会において以下のとおり決議しております。

- 1) 上限500万株の自己株式取得(自己株式を除く発行済株式総数の1.91%、取得価額上限35億円)
- 2) 1,000万株の自己株式消却(消却前の自己株式を含む発行済株式総数の3.56%)

IV. 資本政策

資本構造

(億円、2017年9月末現在)



IV. 資本政策

株主還元

- 配当
 - 自社株取得
 - 株主優待
-

内部留保

成長投資

M&A／提携

高木証券の再編

マーケット部門の拡大施策

首都圏の拡大施策

ITの増強

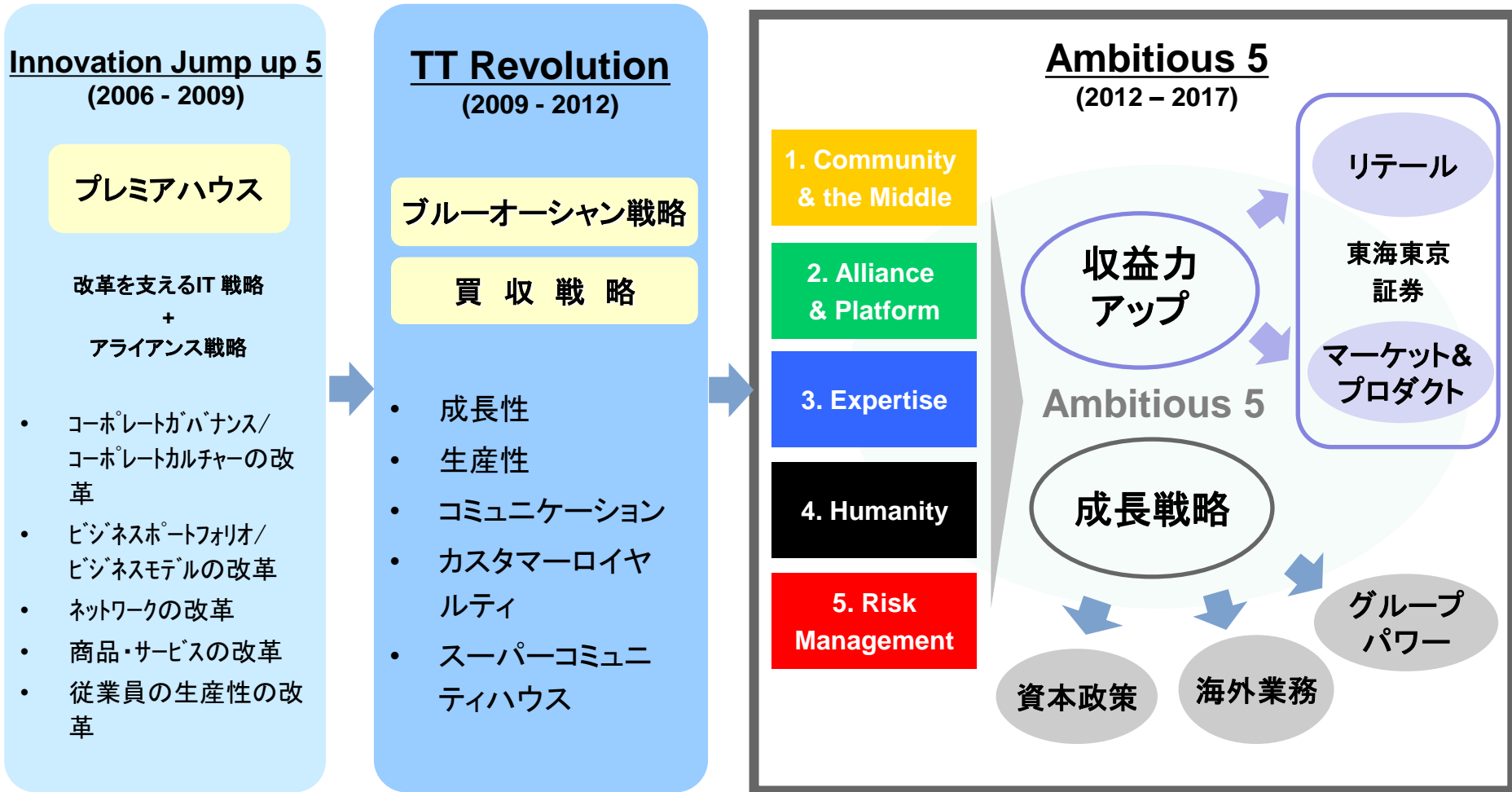
「MONEQUE(マニーク)」の展開

V. 新経営計画

「New Age's, Flag Bearer 5 ～新時代の旗手～」

V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

経営計画の推移



V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

「Ambitious 5」の成果

2012年3月時点

2017年9月末時点

預かり資産規模
(持分法適用会社を含む)

4.4兆円



6.8兆円

富裕層
(預かり資産ベース)

14%



27%

リテール比率

73%



58%

アライアンス先

3行



6行

プラットフォーム先

13社



53社

V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

「Ambitious 5」の成果

経営管理

規律の文化

ダイバーシティ

ガバナンス
(先進・独立)

組織の一体感

挑戦の推進力

見据える力

専門性の強化

攻守のバランス

教育の充実

伝える力

差別化推進

ビジネスモデル

1) 営業基盤の拡大

2) 中部地域での活動強化

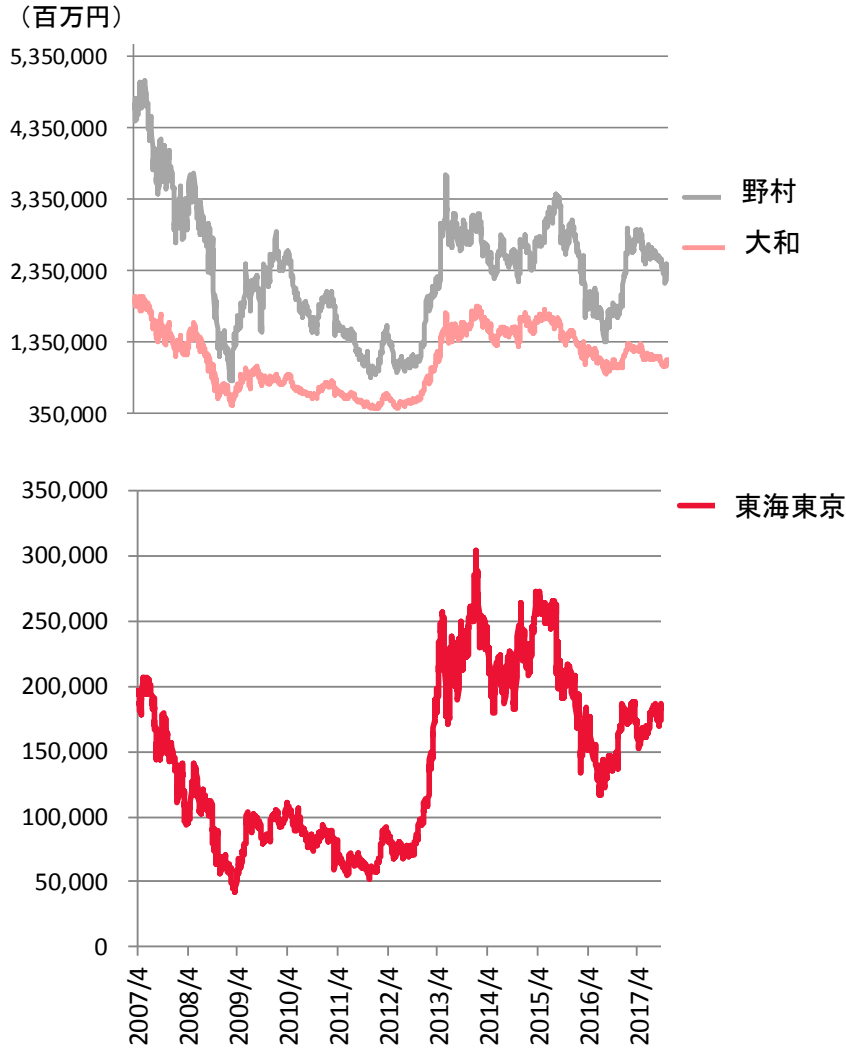
3) 富裕層ビジネスの進展

4) 市場部門の強化・拡大

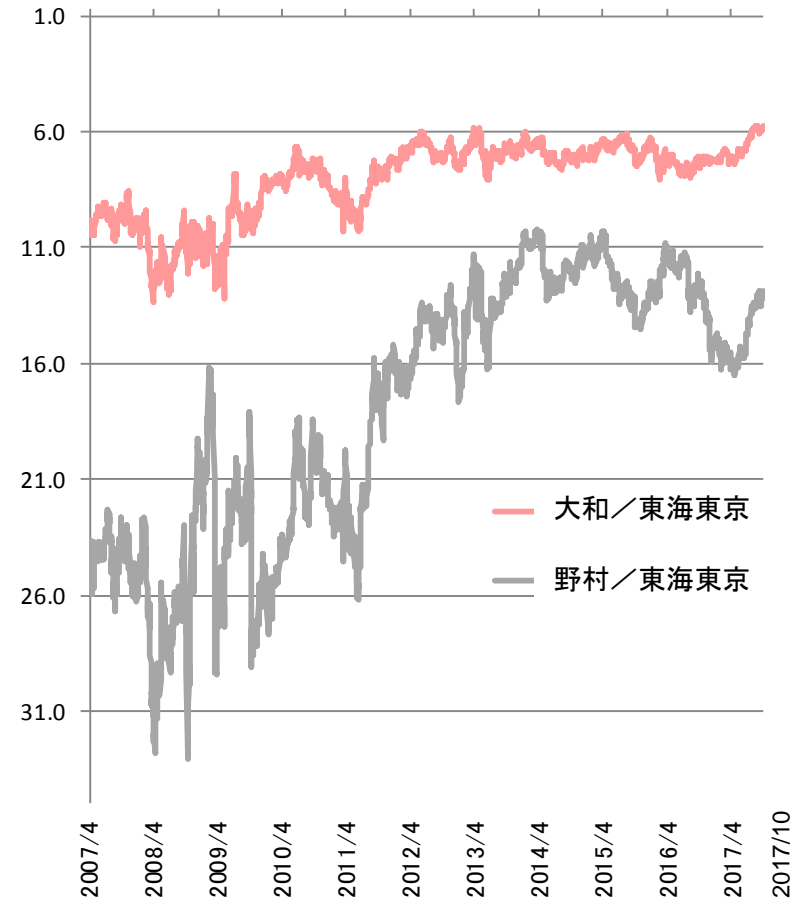
5) 投資銀行部門のパワーアップ

V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」 「Ambitious 5」の成果

時価総額の推移

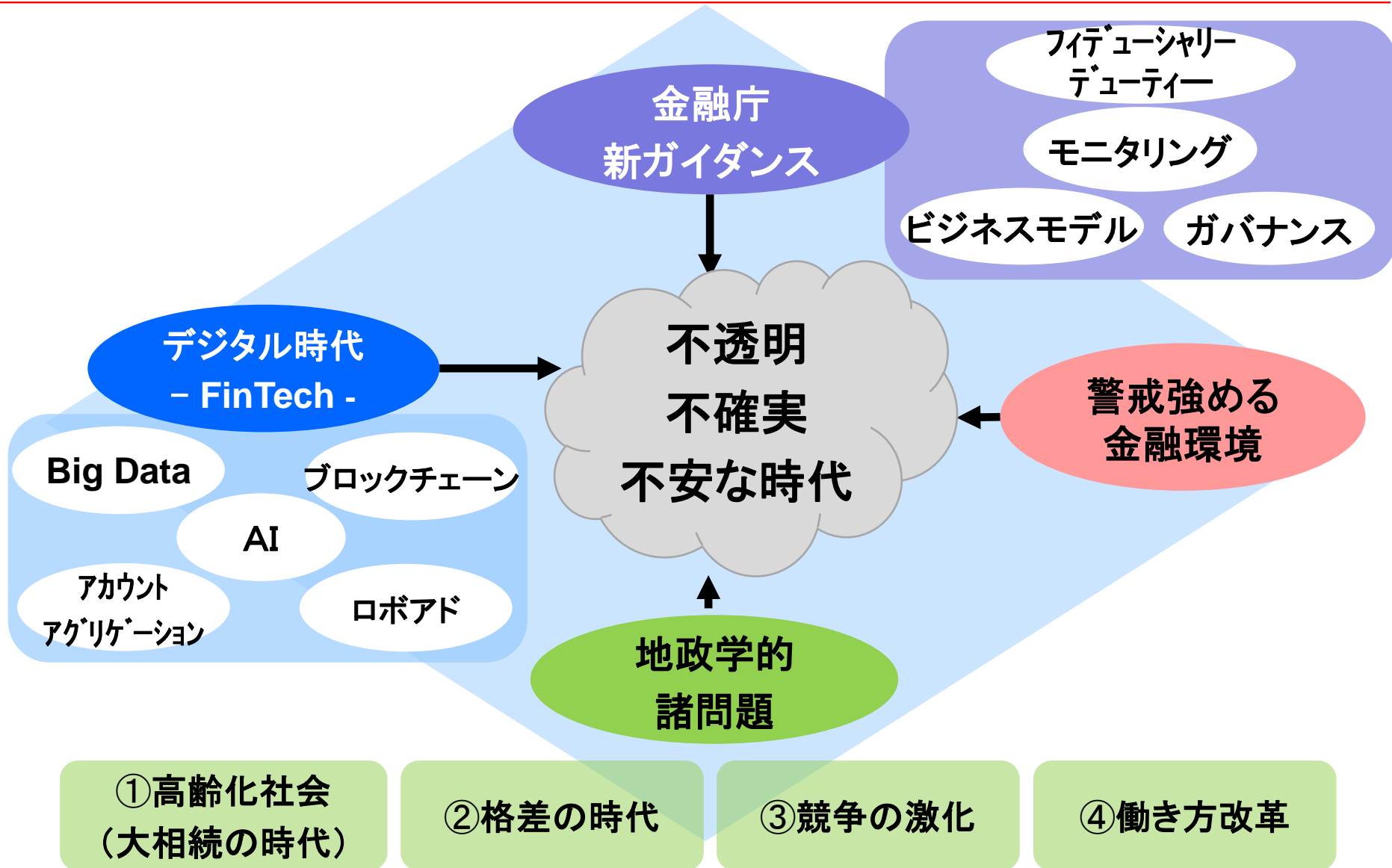


時価総額倍率の推移



V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

ビジネス環境の変化



V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

「Ambitious 5」から「New Age's, Flag Bearer 5」へ

「Ambitious 5」の成果としての
経営基盤

環境変化

「New Age's, Flag Bearer 5」

第三の極を形成

リテール顧客
セグメント戦略

市場部門の
拡大

生産性革命

首都圏

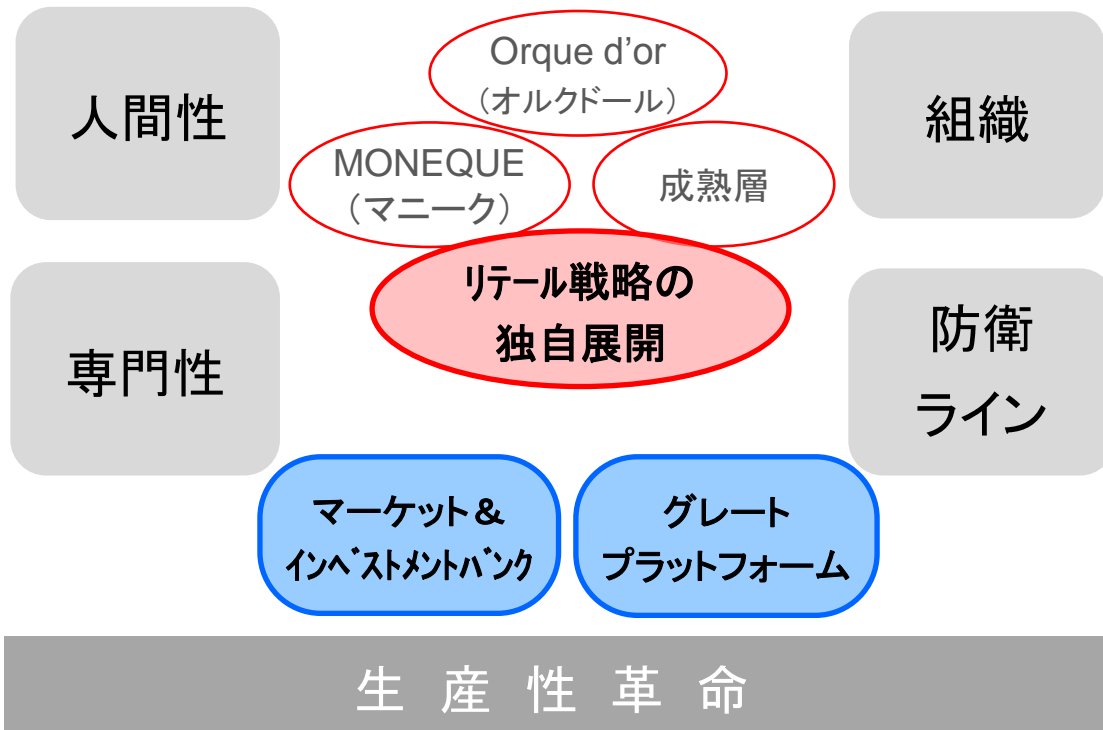
M&A

グレート・
プラットフォーム

V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」 概要

「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

更なる経営基盤の強化と成長



戦略テーマの追求



V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

営業分野の重点テーマ



「Orque d'or」
(オルクドール)

中部

東京

関西

終活

職域

財産
診断

マチュアード

IFA

法・個

店舗再編

と見える・かなえる・そだてるをひとつに。

MONEQUE
マニーク

「MONEQUE」
(マニーク)

FinTech

- マネーフォワード
- カライス
- ライフプラン

ソニー銀行

「保険テラス」

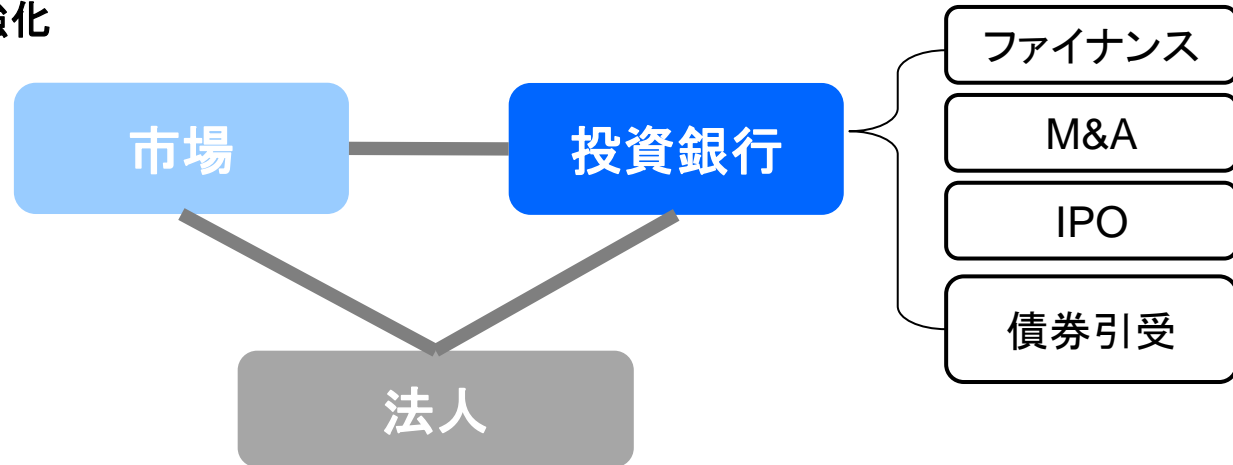
ネット証券

「投信の窓口」

V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

法人およびマーケット部門の強化

■ トライラテラルの強化

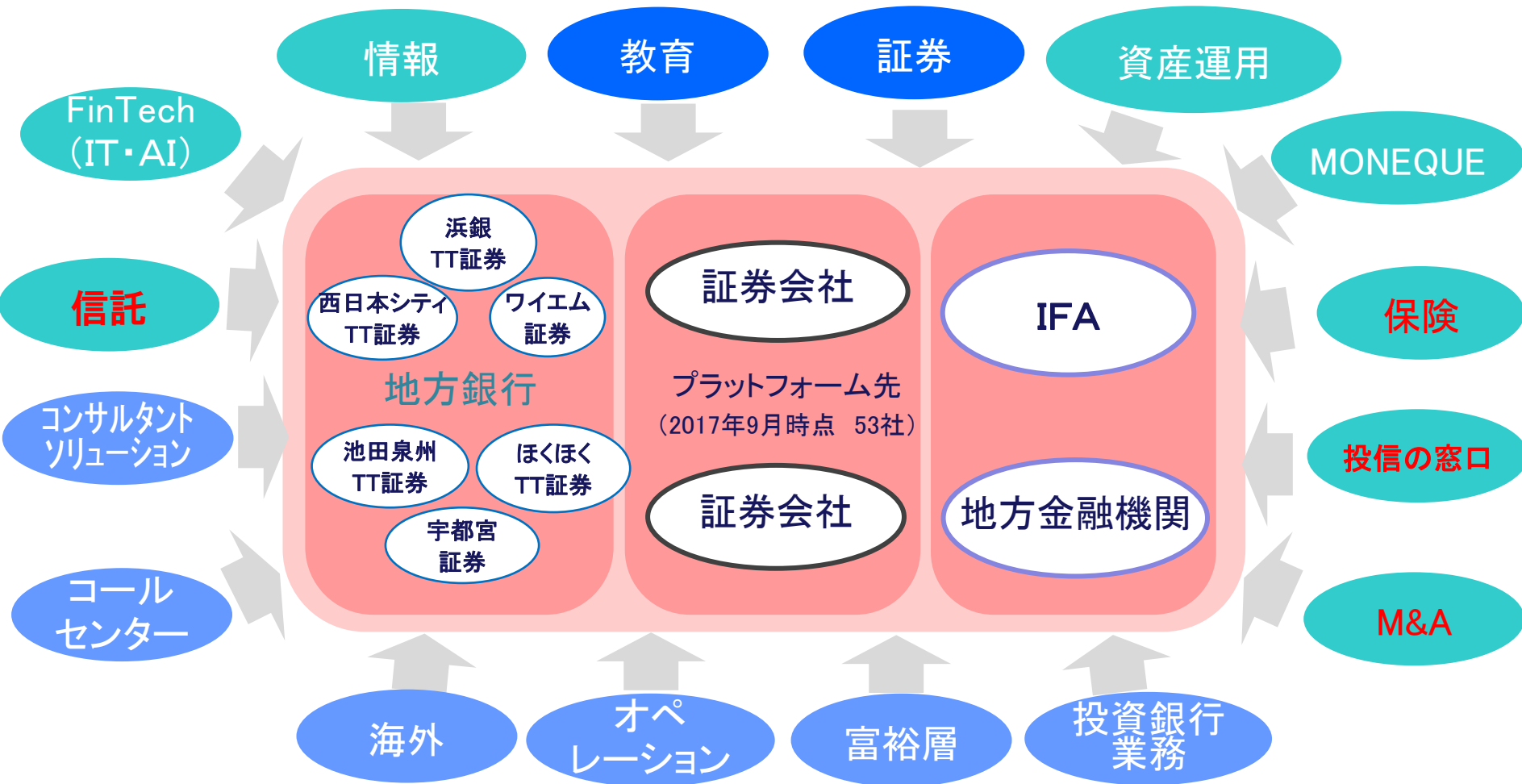


■ マーケット部門の飛躍



V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

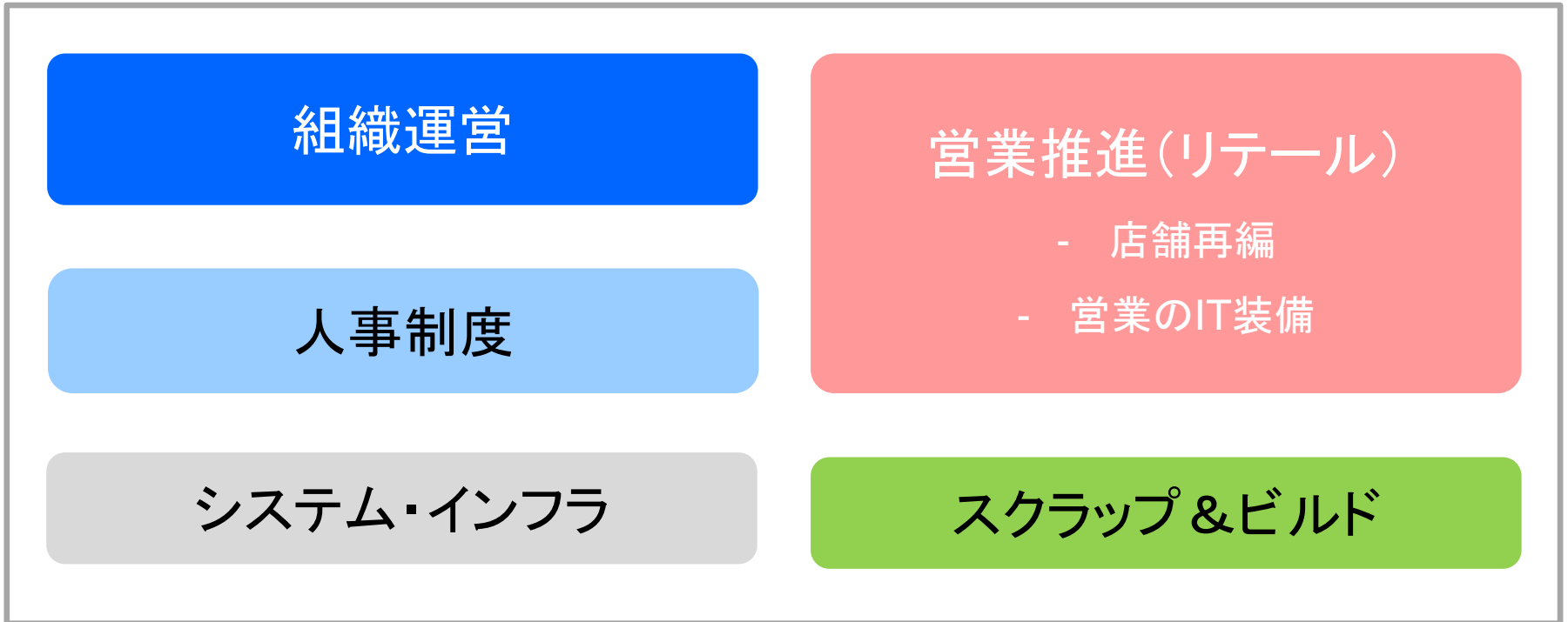
アライアンス戦略 & プラットフォーム飛躍



既存提供機能
 提供機能強化
 新規提供機能

V. 新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

生産性革命



グループ一体化:グループシナジーの追求

問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 広報・IR部
- TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

◇ 本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。